

平成26年度
第8次大和市総合計画に関する市民意識調査
報告書

平成26年8月

大 和 市

目 次

第1章 調査設計	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査手法	3
3. 回収状況	3
4. 地域区分略図	4
5. 調査項目	5
6. 報告書の見かた	5
第2章 調査回答者の属性	7
1. 回答者の属性	9
第3章 調査結果の詳細	13
1. 大和市への愛着度について	15
2. 大和市への定住意向について	18
3. 個別目標の重要度・満足度について	23
(1) 重要度の高い分野	23
(2) 満足度の高い分野	25
(3) 最も重点的に進めて欲しい分野	27
(4) 個別目標の重要度・満足度	29
(5) 地域間の重要度・満足度の比較	31
4. 成果を計る指標について	34
5. 市が重視すべき取り組みについて	48
(1) 心と身体健康づくりに関する取り組み	48
(2) 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み	52
(3) 子育てに関する取り組み	56
(4) 安全・安心に関する取り組み	60
(5) 環境に関する取り組み	64
(6) まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み	68
(7) 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み	72
(8) 地域経済の活性化に関する取り組み	76
(9) 行政経営に関する取り組み	80
6. まちづくりに関しての意見・要望	84
第4章 調査結果のまとめ	89
第5章 調査票	93

第1章 調査設計

1. 調査実施の目的

大和市では、10年間にわたる市政運営の基本的な方針を示した「第8次大和市総合計画」に基づき、計画的にまちづくりを進めている。このうち、前期の基本計画期間が平成25年度をもって終了したことから、その達成状況を確認し、目標とする「健康創造都市 やまと」の実現に向けた今後の取り組みの参考とすることを目的に調査を実施した。

2. 調査手法

- (1) 調査地域：大和市全域
- (2) 調査対象：市内在住の16歳以上の市民
- (3) 対象者数：5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成26年5月27日（火）～平成26年6月9日（月）

3. 回収状況

	サンプル数	回収率
発送数	5,000	
回収合計	2,334	46.68%
有効回収数	2,334	46.68%

※白紙等の無効票がなかったため、回収合計数が有効回収数と一致する。

【男女別回答率】

性別	発送数	回収合計	回収率
男性	2,546	966	37.9%
女性	2,454	1,236	50.4%
無回答		132	
合計	5,000	2,334	46.7%

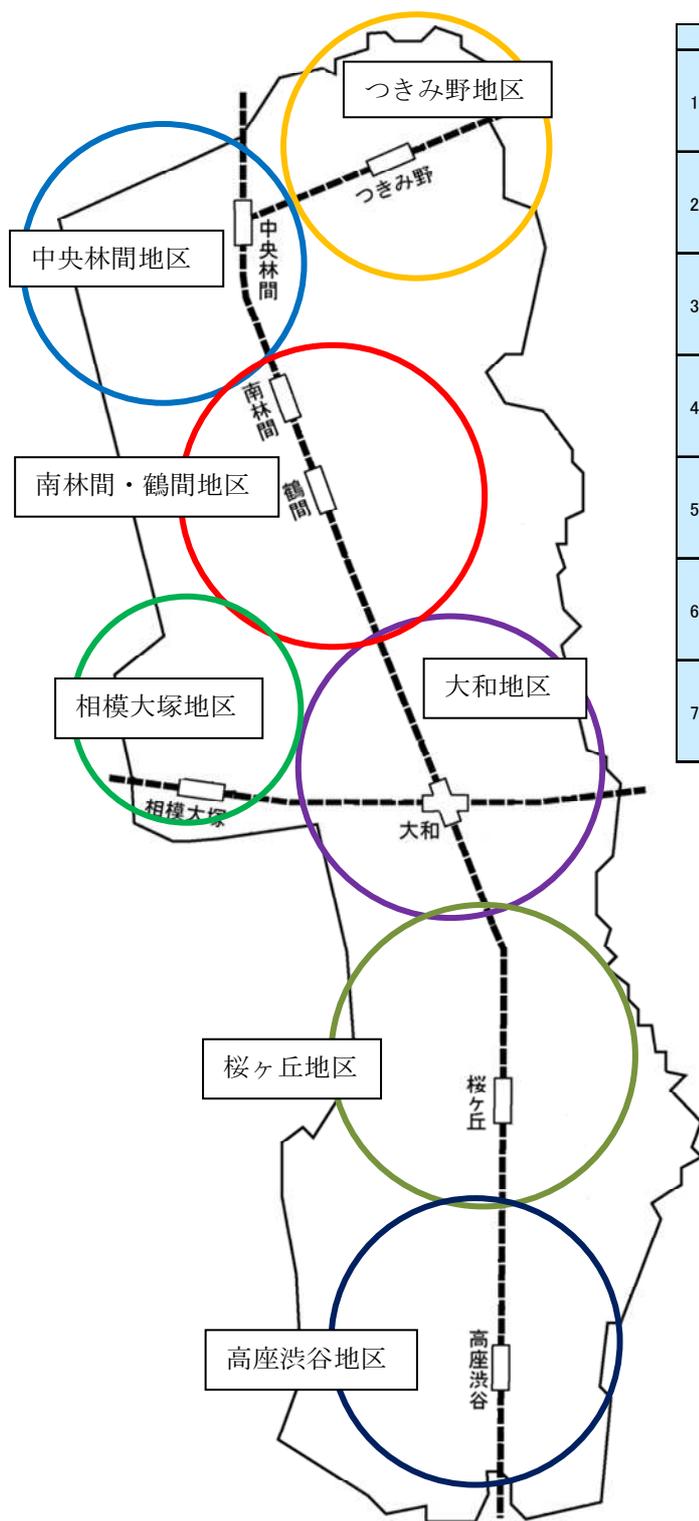
【地域別回答率】

地域名	発送数	回収合計	回収率
中央林間地区	580	279	48.1%
つきみ野地区	427	210	49.2%
南林間・鶴間地区	1,528	693	45.4%
相模大塚地区	167	64	38.3%
大和地区	1,005	450	44.8%
桜ヶ丘地区	789	356	45.1%
高座渋谷地区	504	240	47.6%
無回答		42	
合計	5,000	2,334	46.7%

【年代別回答率】

年代	発送数	回収合計	回収率
10歳代	144	43	29.9%
20歳代	704	192	27.3%
30歳代	910	358	39.3%
40歳代	976	363	37.2%
50歳代	711	311	43.7%
60歳代	755	431	57.1%
70歳以上	800	509	63.6%
無回答		127	
合計	5,000	2,334	46.7%

4. 地域区分略図



地域区分		地区名
1	中央林間地区	下鶴間(1448~1646・4374~4457番地)、中央林間1~6丁目、中央林間西1~7丁目
2	つきみ野地区	下鶴間(1~1439・1945・2046~2244・5011~5287番地) つきみ野1~8丁目
3	南林間・鶴間地区	上草柳5~9丁目、下鶴間1~2丁目 下鶴間(1733~1943・1946~2044・2245~3070番地)、鶴間1~2丁目、西鶴間1~8丁目、深見西5~8丁目、南林間1~9丁目、林間1~2丁目
4	相模大塚地区	上草柳(1~1931番地)、桜森1~3丁目
5	大和地区	上草柳1~4丁目、下草柳、草柳1~3丁目、中央1~7丁目、深見、深見台1~4丁目、深見西1~4丁目、深見東1~3丁目、柳橋1・4丁目、大和東1~3丁目、大和南1~2丁目
6	桜ヶ丘地区	上和田(1~2743番地)、代官1~4丁目、福田(1~8丁目)、福田(2264~2620・4147~5697番地)、柳橋2・3・5丁目
7	高座渋谷地区	上和田(2744~3523番地)、渋谷1~6丁目、下和田、福田(1~2263・3264~4146・6000~6215番地)

5. 調査項目

調 査 項 目
(1) 大和市への愛着度について (問1) (2) 大和市への定住意向について (問2) (3) 個別目標の重要度・満足度について (問3) (4) 成果を計る指標について (問4) (5) 市が重視すべき取り組みについて (問5～問13) (6) まちづくりに関しての意見・要望

6. 報告書の見かた

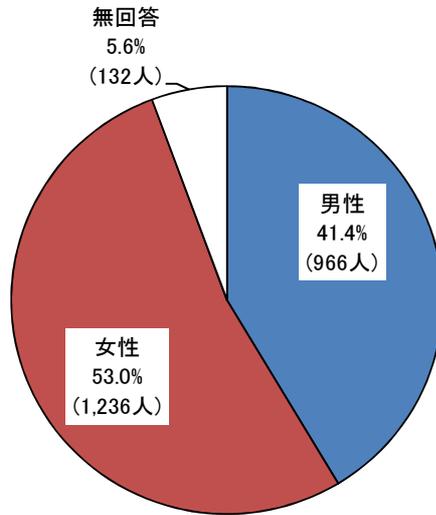
- (1) n (件数) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答はすべて百分率 (%) で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答を求める質問の回答については、すべての数値を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 図表中の「-」は該当者なしを表す。
- (5) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (6) クロス軸の分類や質問における選択肢を統合し、【 】を用いて記述している場合がある。
例：「非常に満足」と「やや満足」を統合して【満足】
- (7) 割合の表記については、下記のとおりとする。
例：40%台

表記	約4割 (4割)	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱 (5割)
範囲	40.1～40.9% (40.0%)	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9% (50.0%)

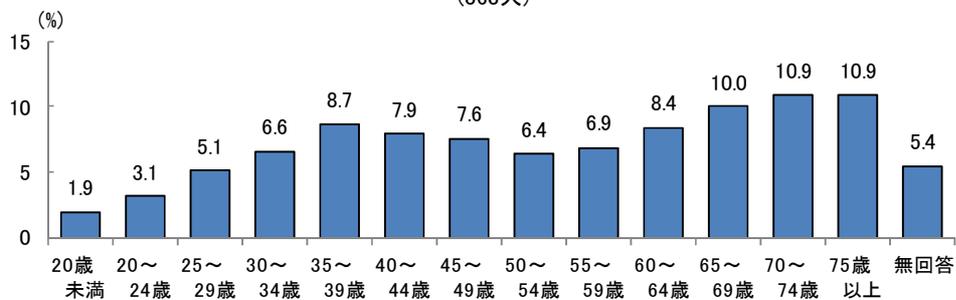
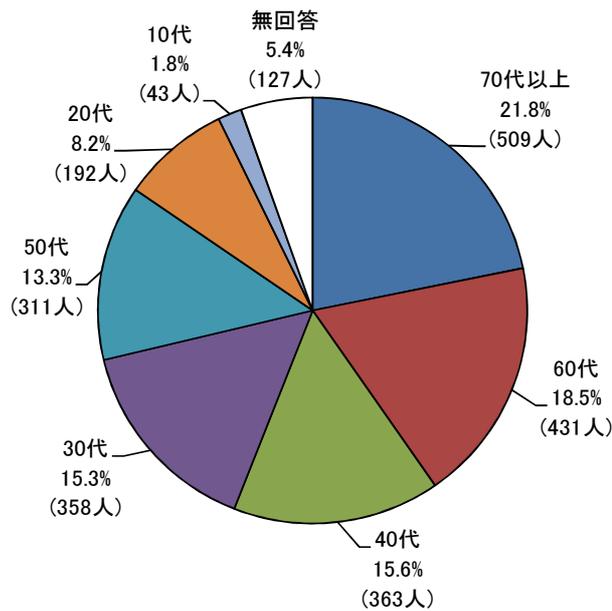
第2章 調査回答者の属性

1. 回答者の属性

1. 性別

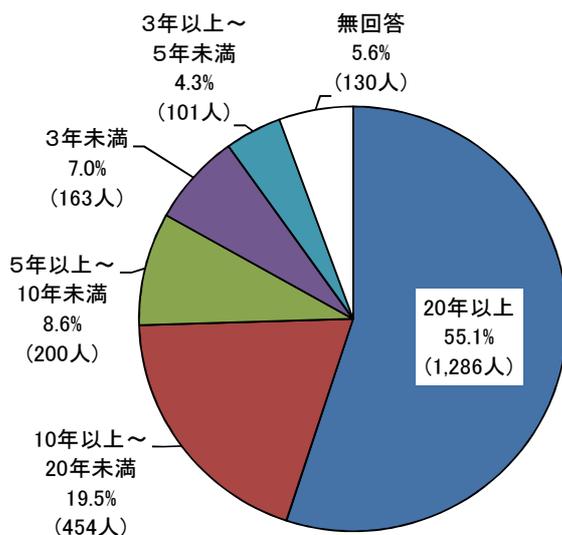


2. 年齢

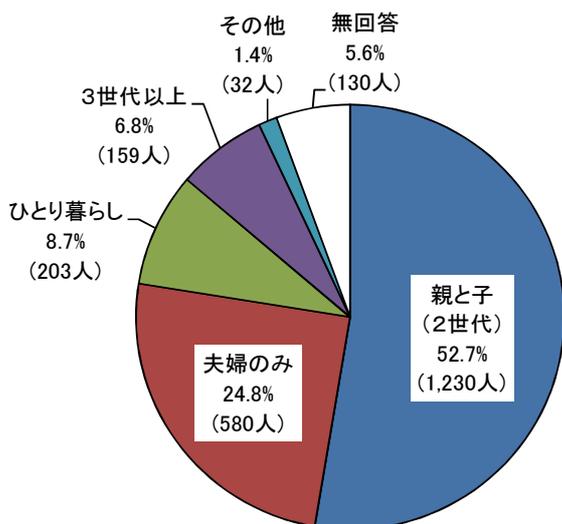


合計	2,334	43	72	120	154	204	185	178	149	162	197	234	254	255	127	(人)
	100.0	1.9	3.1	5.1	6.6	8.7	7.9	7.6	6.4	6.9	8.4	10.0	10.9	10.9	5.4	(%)
男性	966	21	30	52	63	83	83	70	59	76	79	110	128	112	-	(人)
	100.0	2.2	3.1	5.4	6.5	8.6	8.6	7.2	6.1	7.9	8.2	11.4	13.3	11.6	-	(%)
女性	1,236	22	42	68	91	121	102	108	90	86	118	124	124	138	2	(人)
	100.0	1.8	3.4	5.5	7.4	9.8	8.3	8.7	7.3	7.0	9.5	10.0	10.0	11.2	0.2	(%)

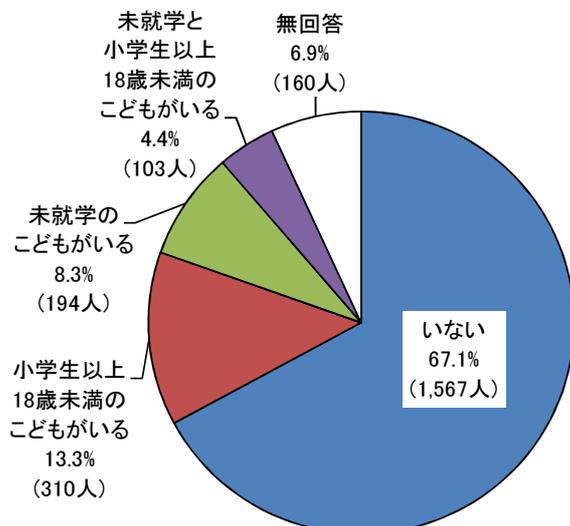
3. 居住年数



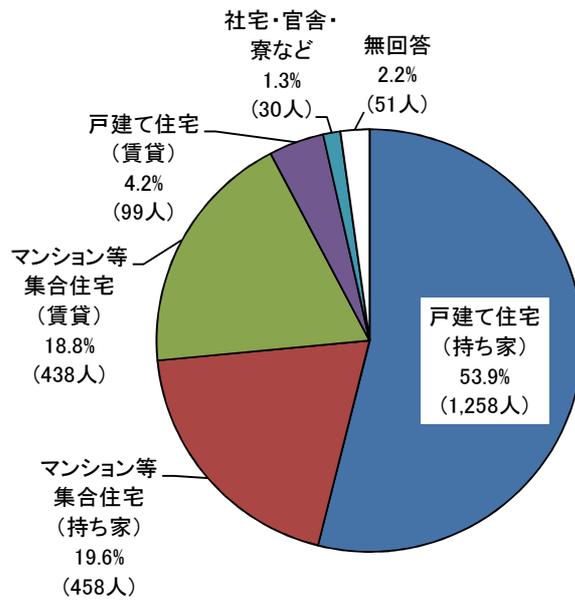
4. 家族構成



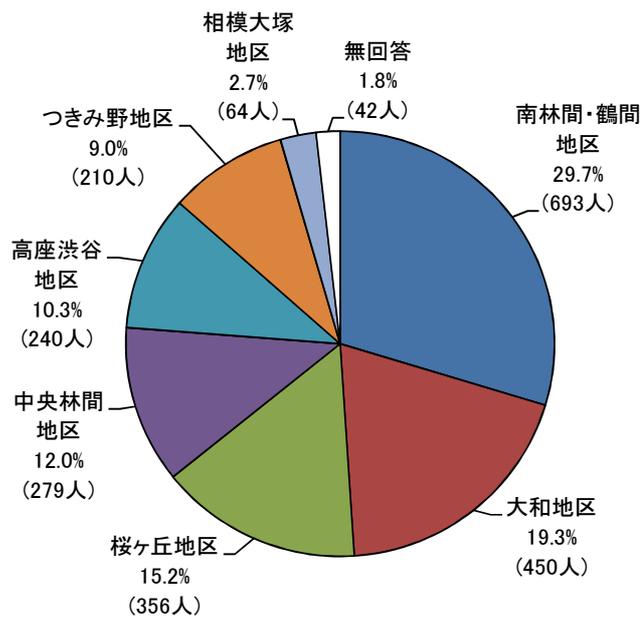
5. こどもの有無



6. 居住形態



7. 居住地域



		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
南林間・鶴間地区	693	21	53	110	110	101	126	129	43	(人)
	100.0	3.0	7.6	15.9	15.9	14.6	18.2	18.6	6.2	(%)
大和地区	450	9	43	71	63	59	85	97	23	(人)
	100.0	2.0	9.6	15.8	14.0	13.1	18.9	21.6	5.1	(%)
桜ヶ丘地区	356	6	24	39	54	40	76	95	22	(人)
	100.0	1.7	6.7	11.0	15.2	11.2	21.3	26.7	6.2	(%)
中央林間地区	279	2	21	56	53	40	45	51	11	(人)
	100.0	0.7	7.5	20.1	19.0	14.3	16.1	18.3	3.9	(%)
高座渋谷地区	240	1	23	33	29	26	51	64	13	(人)
	100.0	0.4	9.6	13.8	12.1	10.8	21.3	26.7	5.4	(%)
つきみ野地区	210	3	21	31	37	34	29	48	7	(人)
	100.0	1.4	10.0	14.8	17.6	16.2	13.8	22.9	3.3	(%)
相模大塚地区	64	1	5	17	13	6	9	9	4	(人)
	100.0	1.6	7.8	26.6	20.3	9.4	14.1	14.1	6.3	(%)

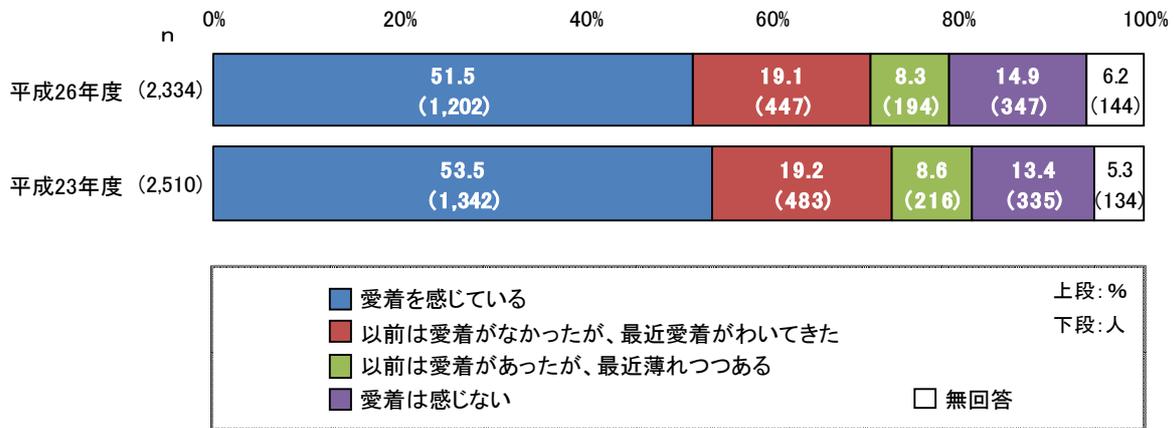
第3章 調査結果の詳細

1. 大和市への愛着度について

◇「愛着を感じている」が5割強

問1. あなたは、大和市に愛着を感じていますか。(○印は1つ)

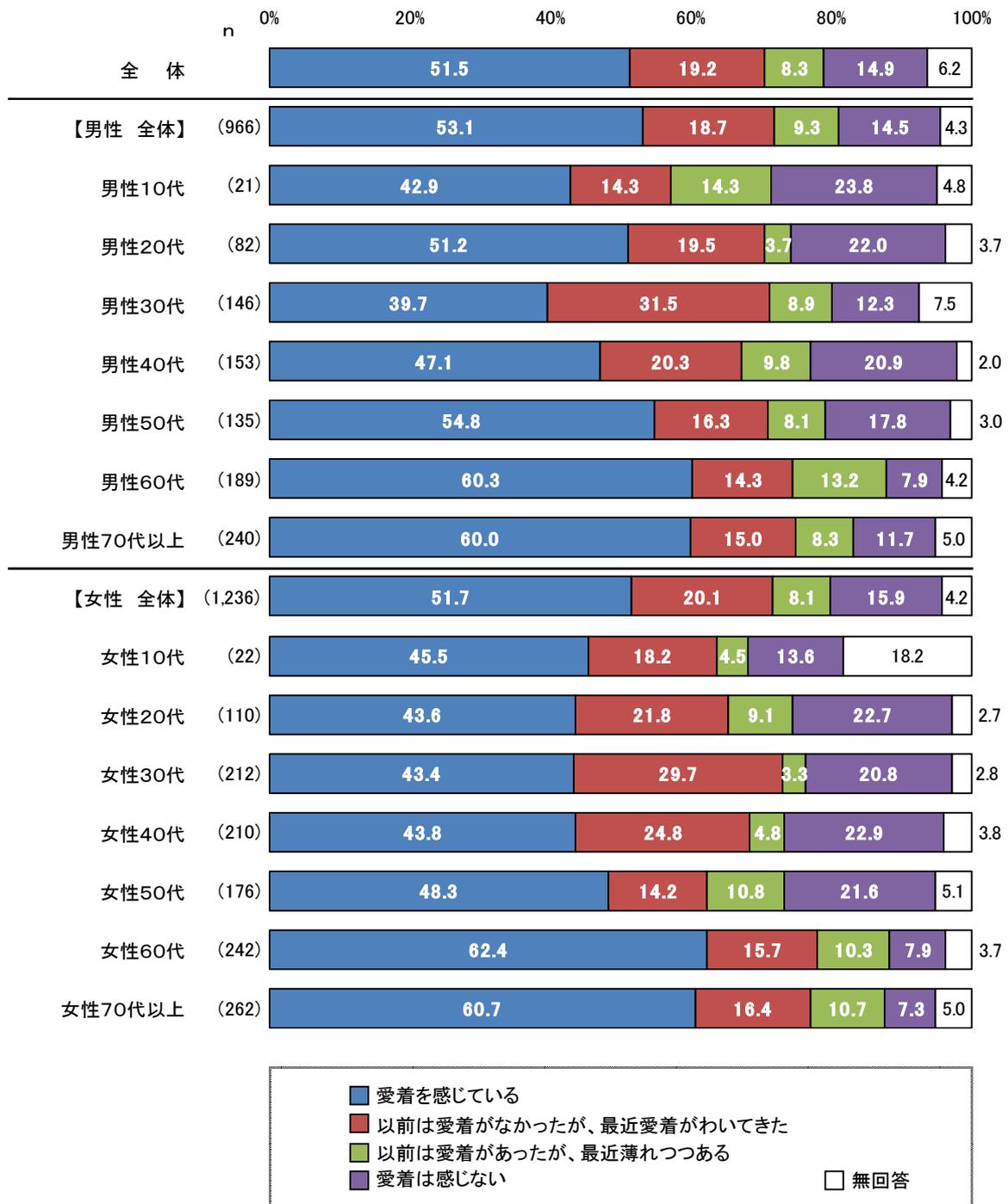
図1-1 愛着度—全体・経年比較



大和市への愛着度については、「愛着を感じている」(51.5%)が最も多く5割強となっている。次いで、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」(19.1%)、「愛着は感じない」(14.9%)、「以前は愛着があったが、最近薄れつつある」(8.3%)の順となっている。「愛着を感じている」と「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」を合わせた【愛着を感じる(以下同様)】(70.6%)は約7割となっている。

前回結果と比較すると、【愛着を感じる】(72.7%)は2.1ポイント減少しているが、大和市への愛着度は7割以上となっている。(図1-1)

図 1-2 愛着度一性別・年齢別



性別にみると、男女ともに【愛着を感じる】(71.8%)は7割強となっている。

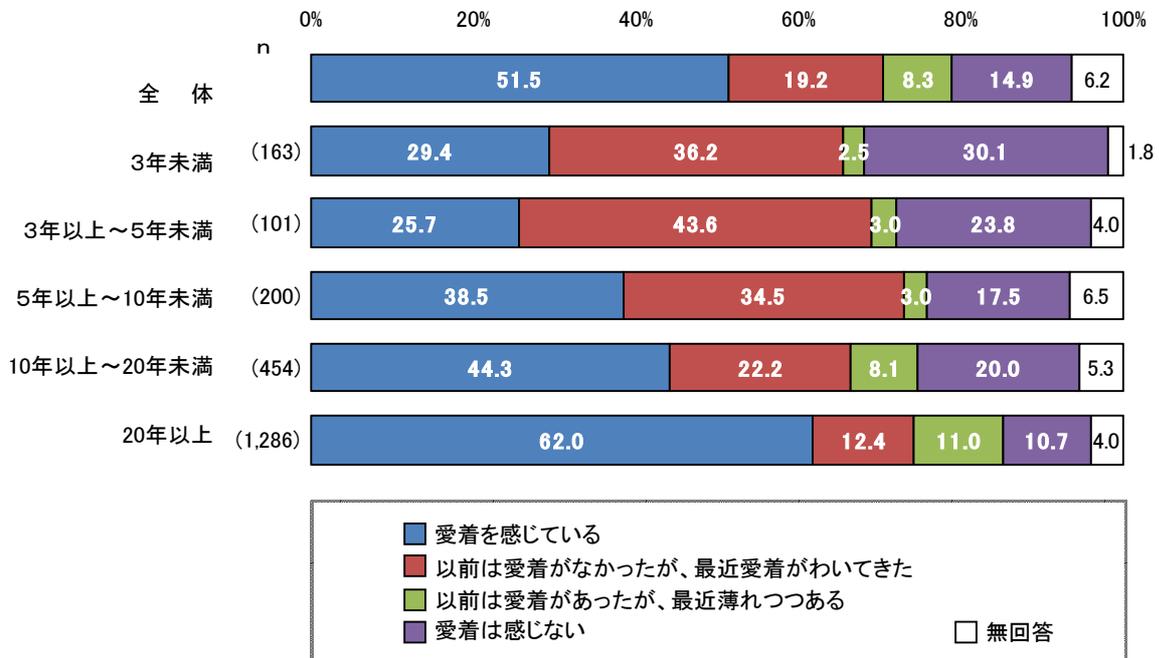
年齢別にみると、【愛着を感じる】と回答した人が7割以上となったのが、男性20代(70.7%)・30代(71.2%)・50代(71.1%)・60代(74.6%)・70代以上(75.0%)と女性30代(73.1%)・60代(78.1%)・70代以上(77.1%)。(図 1-2)

図1-3 愛着度—地域別



地域別にみると、【愛着を感じる】と回答した人が、南林間・鶴間地区(72.2%)、相模大塚地区(78.2%)、大和地区(70.9%)及び桜ヶ丘地区(71.9%)で7割以上と多くなっている。一方、中央林間地区では「愛着は感じない」が2割強と他の地域と比較して多くなっている。(図1-3)

図1-4 愛着度—居住年数別



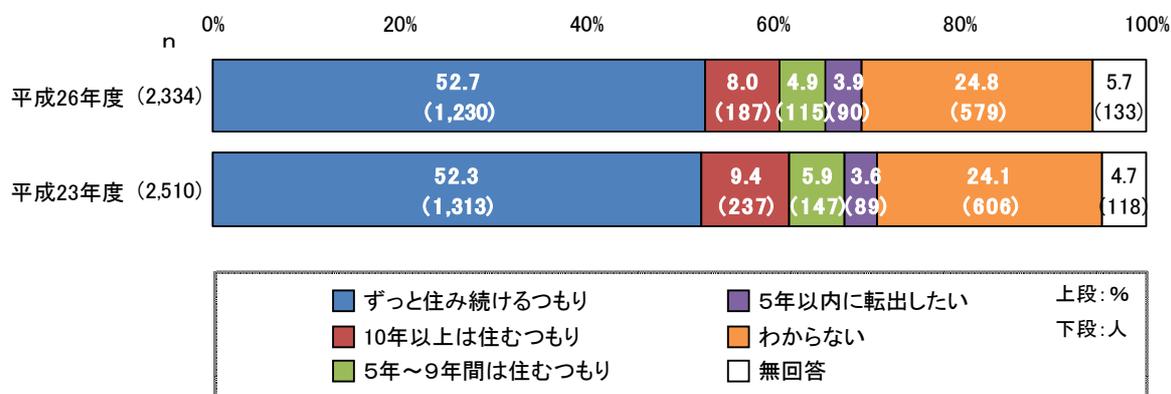
居住年数別にみると、【愛着を感じる】と回答した人が、5年以上～10年未満(73.0%)と20年以上(74.4%)で7割以上と多くなっている。一方、3年未満では「愛着は感じない」が約3割と多くなっている。(図1-4)

2. 大和市への定住意向について

◇「ずっと住み続けるつもり」が5割強

問2. あなたは、これからも大和市内に住み続けたいですか。(○印は1つ)

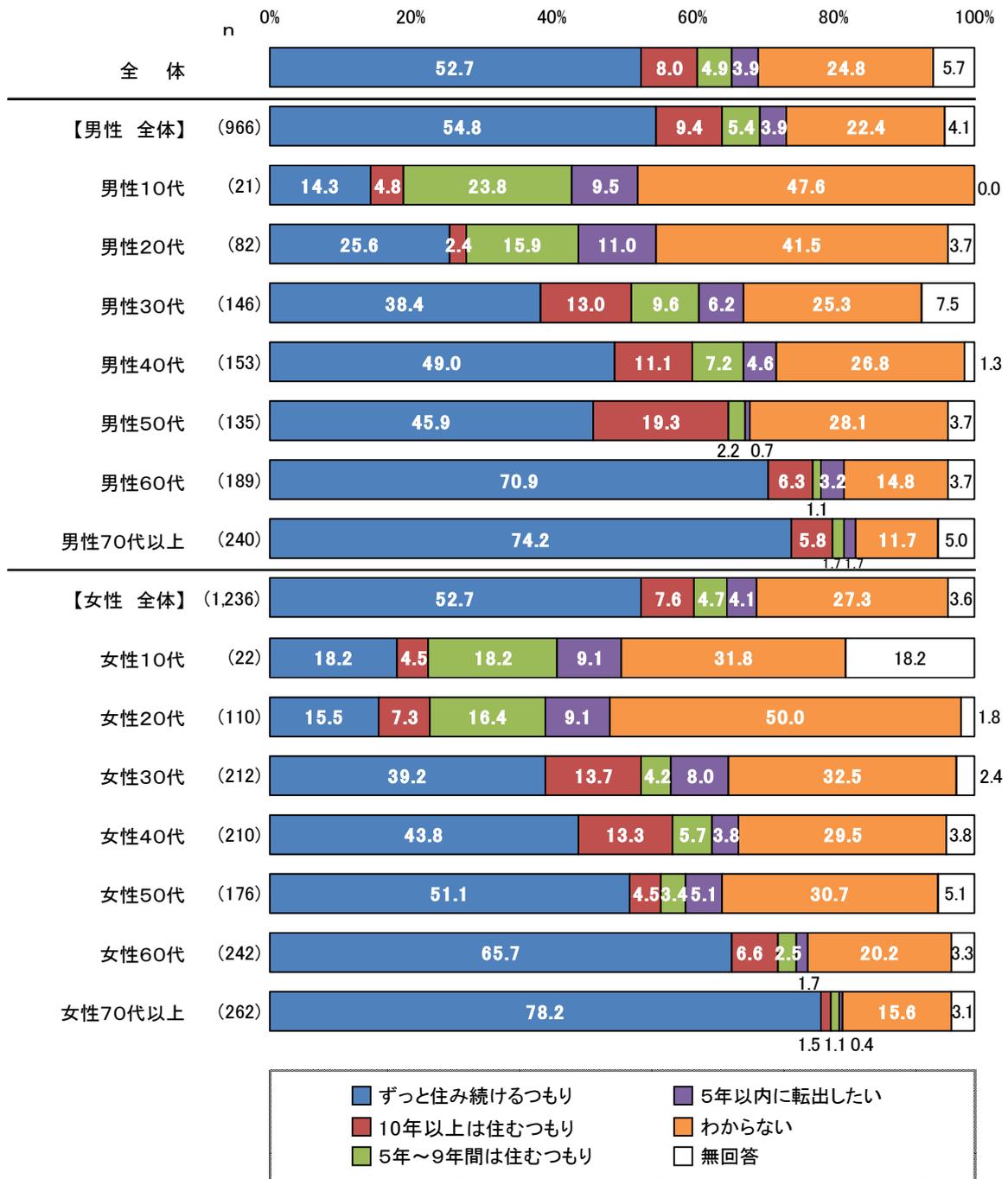
図2-1 定住意向—全体・経年比較



大和市内への定住意向については、「ずっと住み続けるつもり」(52.7%)が最も多く5割強となっている。次いで、「10年以上は住むつもり」(8.0%)、「5年～9年間は住むつもり」(4.9%)、「5年以内に転出したい」(3.9%)の順となっている。「ずっと住み続けるつもり」と「10年以上は住むつもり」を合わせた【定住希望(以下同様)】(60.7%)は約6割となっている。一方、「わからない」(24.8%)は2割台半ばとなっている。

前回結果と比較すると、【定住希望】(61.7%)は1.0ポイント減少している。(図2-1)

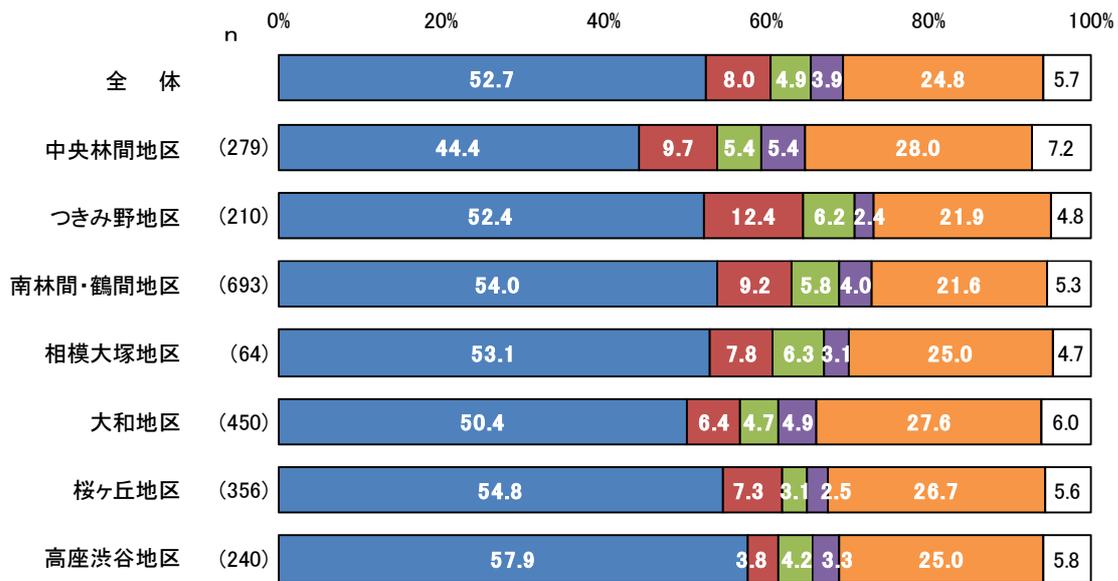
図 2-2 定住意向一性別・年齢別



性別にみると、男性の【定住希望】(64.2%)は女性の【定住希望】(60.3%)よりも3.9ポイント高くなっている。

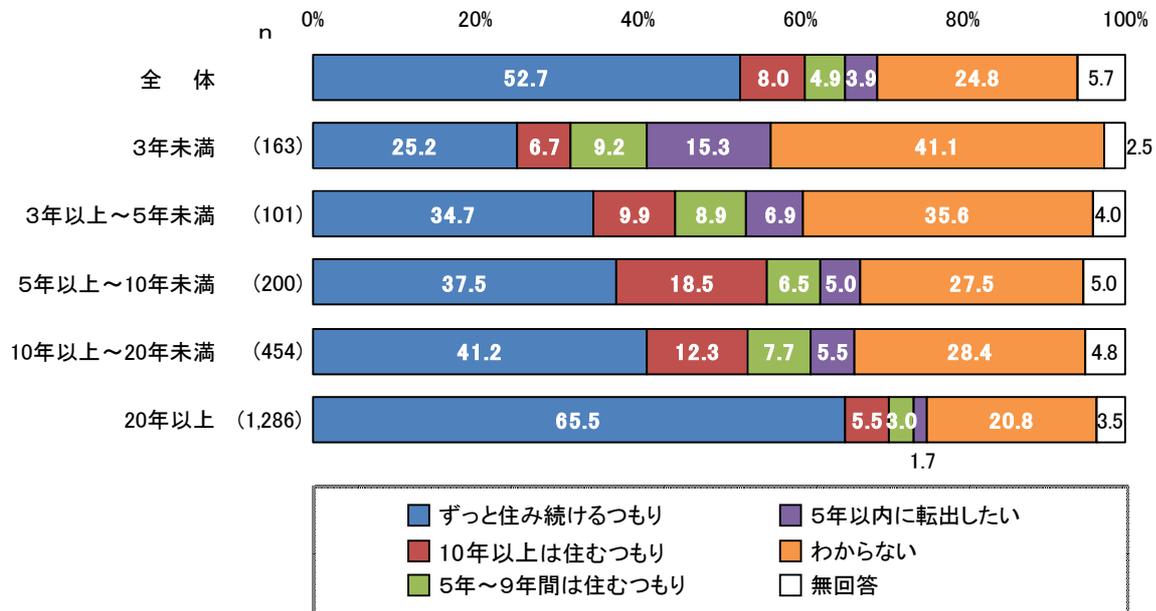
年齢別にみると、男性は年代が上がるにつれて【定住希望】が増加傾向となり、70代以上では80.0%となっている。また、女性では20代から年代が上がるにつれて「ずっと住み続けるつもり」が増加傾向となり、70代以上では78.2%となっている。(図 2-2)

図 2-3 定住意向—地域別



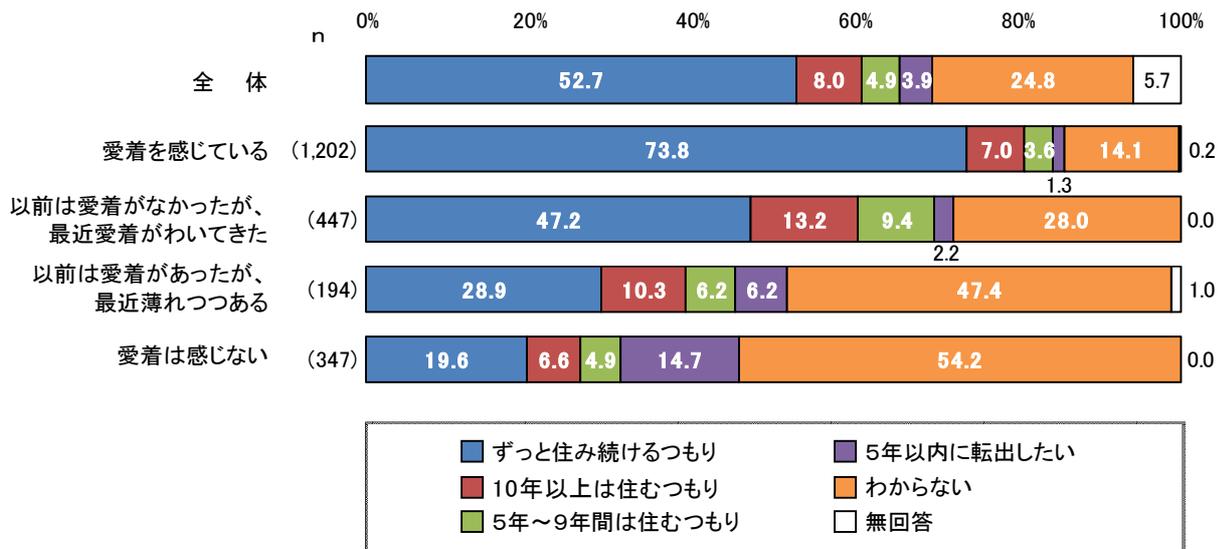
地域別にみると、【定住希望】と回答した人はつきみ野地区(64.8%)や南林間・鶴間地区(63.2%)で6割強と多くなっている。一方、中央林間地区では【定住希望】(54.1%)が5割台半ばと他の地域と比較して少ない。(図2-3)

図 2-4 定住意向—居住年数別



居住年数別にみると、居住年数が長いほど【定住希望】の割合が高くなり、20年以上では【定住希望】(71.0%)が7割強と多くなっている。一方、3年未満では【定住希望】(31.9%)が3割強となっている。(図2-4)

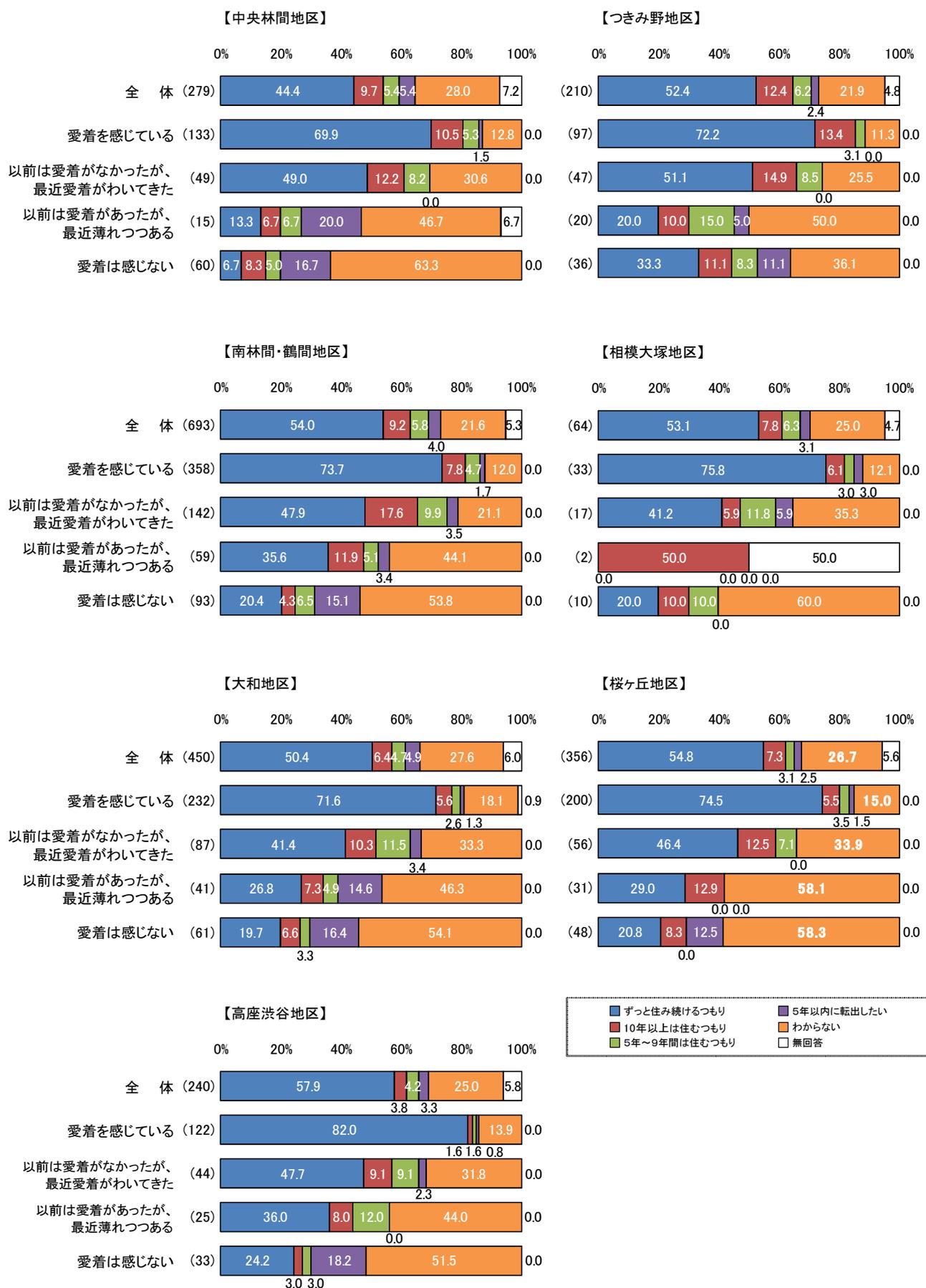
図2-5 定住意向－愛着度別



愛着度別にみると、「愛着を感じている」と回答した人では【定住希望】（80.8%）が約8割と多くなっている。また、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」と回答した人では【定住希望】（60.4%）が約6割となっている。一方、「愛着は感じない」と回答した人では「わからない」（54.2%）が5割台半ばと多くなっている。大和市への愛着度と定住意向は相関関係にあることがうかがえる。（図2-5）

地域別の愛着度でみると、「愛着を感じている」と回答した人のうち【定住希望】が大和地区（77.2%）では8割近くとなり、その他の地域では8割以上となっている。一方、「愛着は感じない」と回答した人の【定住希望】は、つきみ野地区（44.1%）、相模大塚地区（30.0%）で多くなっている。（図2-6）

図 2-6 定住意向－愛着度・地域別



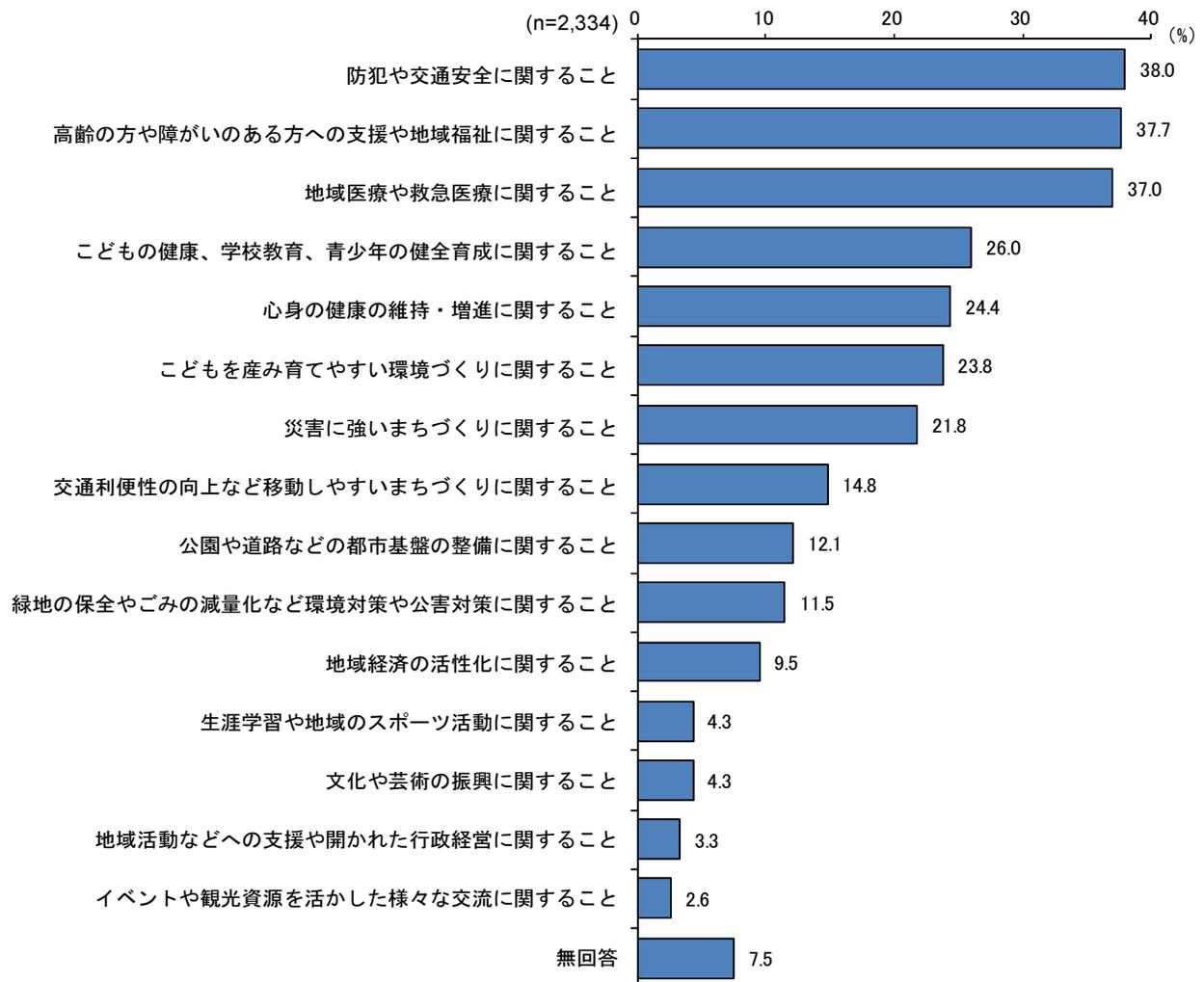
3. 個別目標の重要度・満足度について

(1) 重要度の高い分野

◇「防犯や交通安全に関すること」「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」「地域医療や救急医療に関すること」が4割近く

問3. あなたは、次に掲げるまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足していますか。次の欄の1～15の中から、重要度、満足度それぞれに該当する番号を3つまで選んで記入してください。また、(1)で選んだ中から、最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、1つだけ番号を記入してください。

図3-1 重要度の高い分野－全体



まちづくりの分野で重要度の高い分野について、「防犯や交通安全に関すること」(38.0%)、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(37.7%)、「地域医療や救急医療に関すること」(37.0%)が多く4割近くとなっている。次いで、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」(26.0%)、「心身の健康の維持・増進に関すること」(24.4%)などの順となっている。

(図3-1)

図3-2 重要度の高い分野一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
防犯や交通安全に関すること	38.0	41.1
高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること	37.7	—
心身の健康の維持・増進に関すること	24.4	—
(※心身の健康や地域福祉に関すること)	—	37.5
地域医療や救急医療に関すること	37.0	50.9
こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること	26.0	31.2
子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること	23.8	17.1
災害に強いまちづくりに関すること	21.8	18.9
交通便利性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること	14.8	15.4
公園や道路などの都市基盤の整備に関すること	12.1	16.3
緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること	11.5	10.9
地域経済の活性化に関すること	9.5	16.4
生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること	4.3	5.3
文化や芸術の振興に関すること	4.3	5.4
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること	3.3	5.7
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること	2.6	3.3
無回答	7.5	7.4

1位 2位

※平成23年度では質問項目が1つであったが、平成26年度では質問項目が2つに分かれたもの。

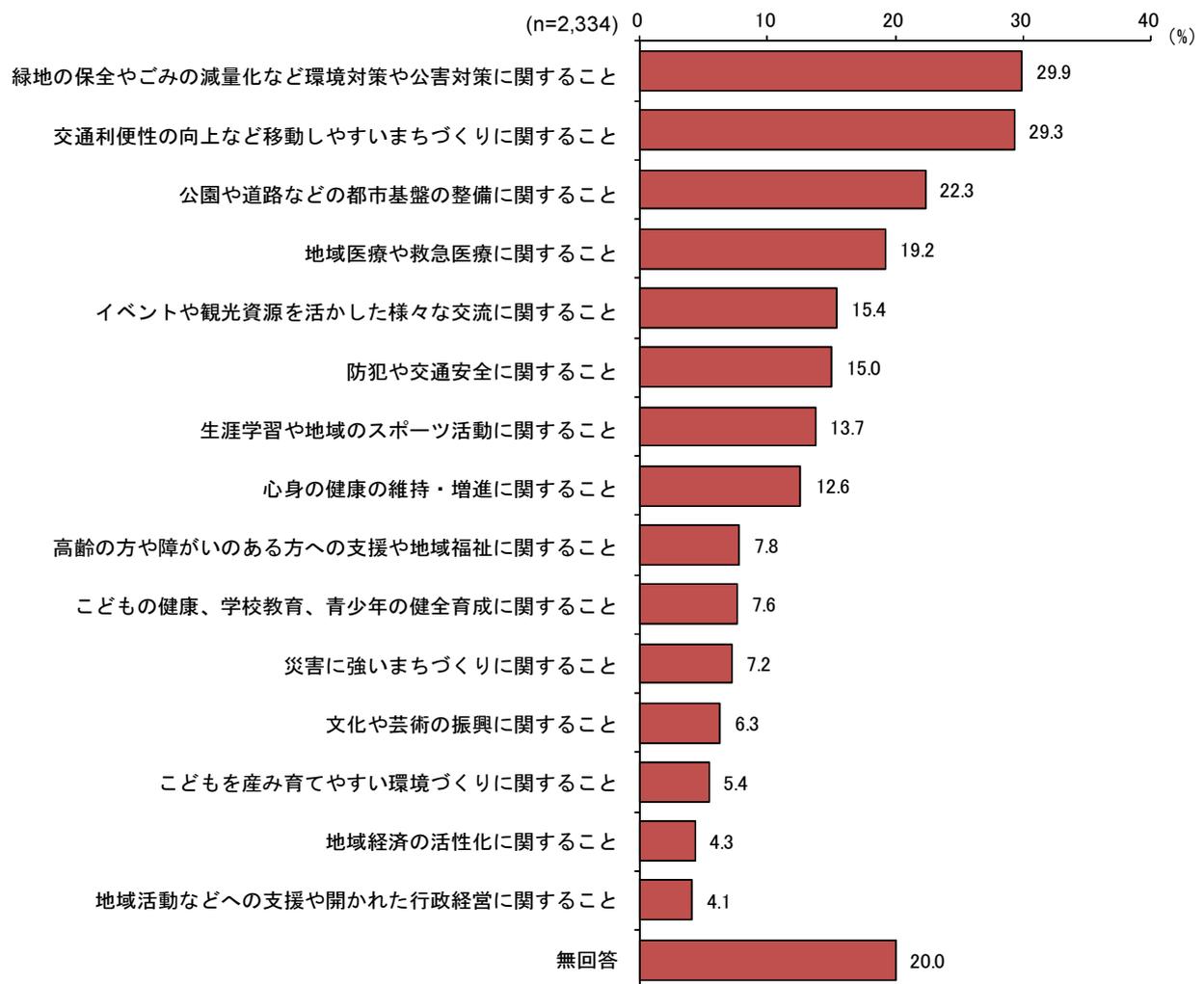
前回結果と比較すると、今回新たに加わった項目「防犯や交通安全に関すること」、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」がそれぞれ1位、2位となっている。「地域医療や救急医療に関すること」は前回1位から今回3位となっている。また、「子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること」は前回より6.7ポイント増加している。(図3-2)

(2) 満足度の高い分野

◇「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」が3割弱

問3. あなたは、次に掲げるまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足していますか。次の欄の1～15の中から、重要度、満足度それぞれに該当する番号を3つまで選んで記入してください。また、(1)で選んだ中から、最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、1つだけ番号を記入してください。

図3-3 満足度の高い分野ー全体



まちづくりの分野で満足度の高い分野について、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」(29.9%)、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」(29.3%)が多く3割弱となっている。次いで、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」(22.3%)、「地域医療や救急医療に関すること」(19.2%)などの順となっている。(図3-3)

図 3-4 満足度の高い分野一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること	29.9	23.5
交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること	29.3	24.3
公園や道路などの都市基盤の整備に関すること	22.3	22.9
地域医療や救急医療に関すること	19.2	19.8
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること	15.4	16.2
防犯や交通安全に関すること	15.0	13.2
生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること	13.7	17.2
心身の健康の維持・増進に関すること	12.6	—
高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること	7.8	—
(※心身の健康や地域福祉に関すること)	—	12.0
こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること	7.6	8.4
災害に強いまちづくりに関すること	7.2	10.8
文化や芸術の振興に関すること	6.3	7.7
子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること	5.4	3.1
地域経済の活性化に関すること	4.3	3.6
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること	4.1	5.8
無回答	20.0	22.6

1位 2位

※平成23年度では質問項目が1つであったが、平成26年度では質問項目が2つに分かれたもの。

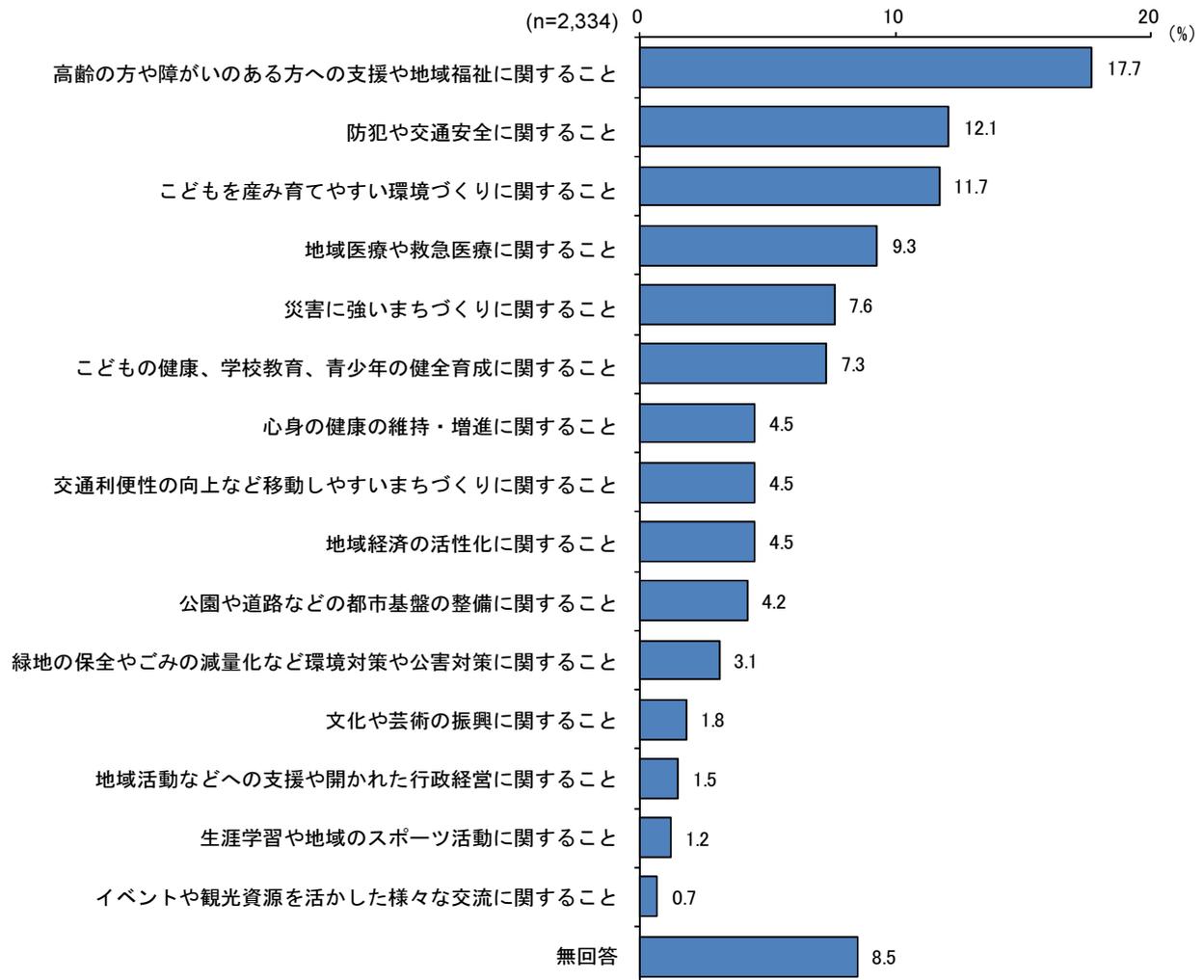
前回結果と比較すると、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」は6.4ポイント増加し前回2位から今回1位となり、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」は5.0ポイント増加し前回1位から今回2位となっている。(図3-4)

(3) 最も重点的に進めて欲しい分野

◇「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が2割近く

問3. あなたは、次に掲げるまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足していますか。次の欄の1～15の中から、重要度、満足度それぞれに該当する番号を3つまで選んで記入してください。また、(1)で選んだ中から、最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、1つだけ番号を記入してください。

図3-5 最も重点的に進めて欲しい分野—全体



まちづくりの分野で最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(17.7%)が最も多く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」(12.1%)、「子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること」(11.7%)、「地域医療や救急医療に関すること」(9.3%)などの順となっている。(図3-5)

図3-6 最も重点的に進めて欲しい分野一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること	17.7	—
心身の健康の維持・増進に関すること	4.5	—
(※心身の健康や地域福祉に関すること)	—	10.9
防犯や交通安全に関すること	12.1	12.4
子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること	11.7	6.9
地域医療や救急医療に関すること	9.3	17.2
災害に強いまちづくりに関すること	7.6	6.0
子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること	7.3	11.5
交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること	4.5	5.1
地域経済の活性化に関すること	4.5	8.1
公園や道路などの都市基盤の整備に関すること	4.2	5.1
緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること	3.1	3.2
文化や芸術の振興に関すること	1.8	2.1
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること	1.5	2.2
生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること	1.2	0.8
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること	0.7	1.0
無回答	8.5	7.5

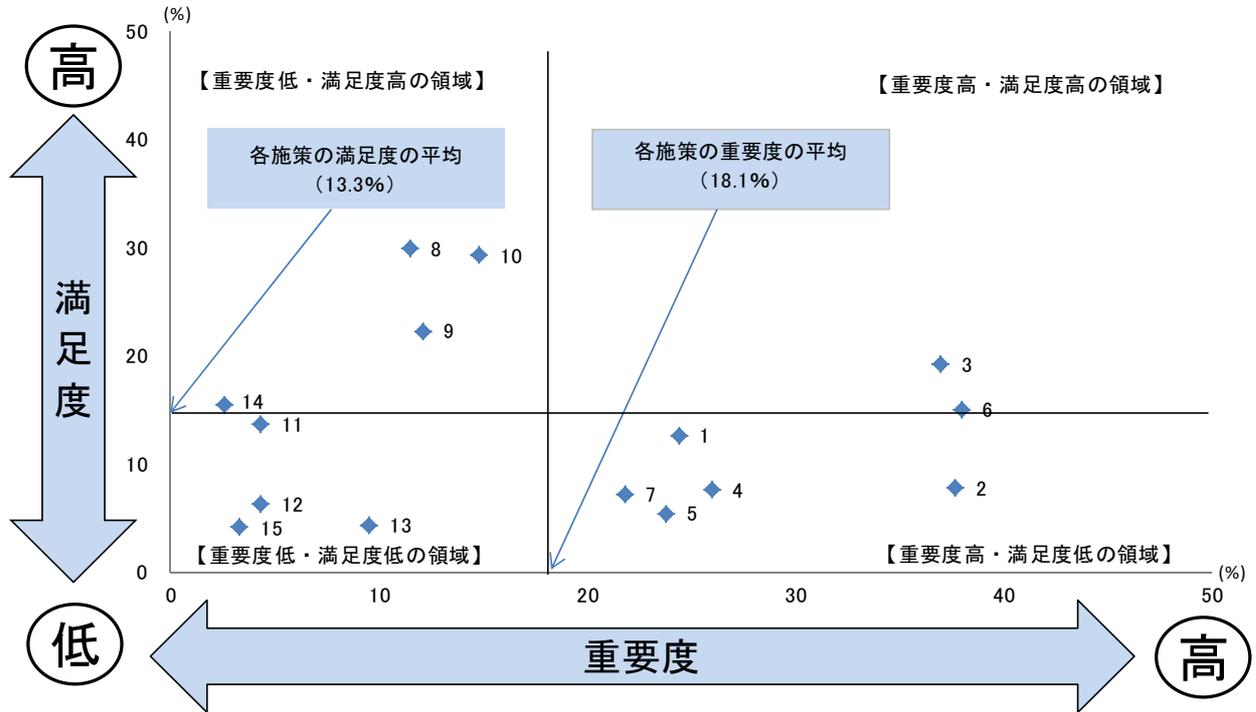
1位 2位

※平成23年度では質問項目が1つであったが、平成26年度では質問項目が2つに分かれたもの。

前回結果と比較すると、今回新たに加わった項目「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が1位、「防犯や交通安全に関すること」が前回同様2位となっている。「地域医療や救急医療に関すること」は前回1位から7.9ポイント減少し、今回4位となっている。また、「子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること」は前回4位から4.8ポイント増加し、今回3位となっている。(図3-6)

(4) 個別目標の重要度・満足度

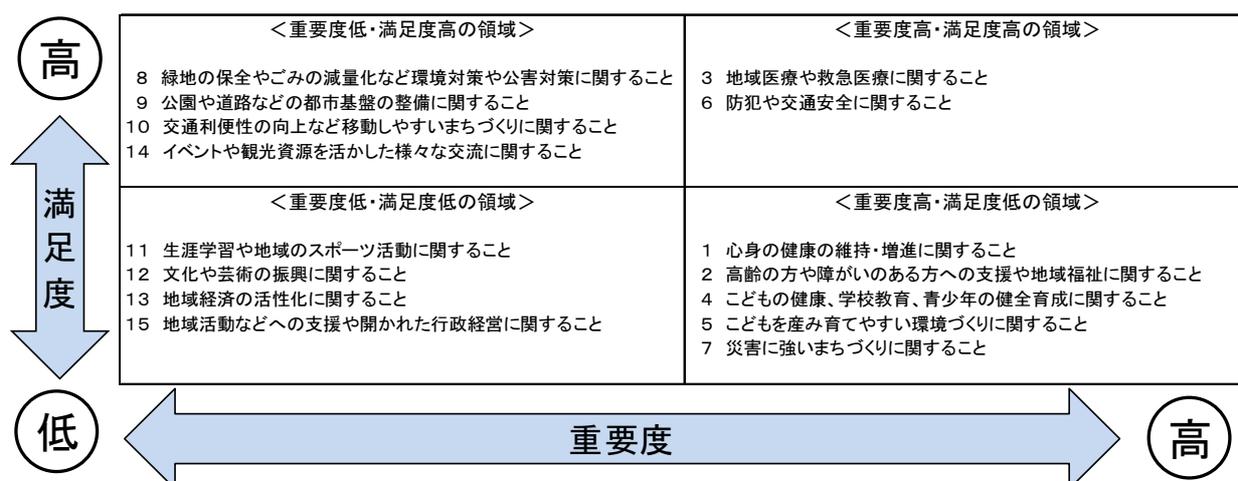
図3-7 個別目標の重要度・満足度ークロス分析



- 1 心身の健康の維持・増進に関すること
- 2 高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること
- 3 地域医療や救急医療に関すること
- 4 こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
- 5 こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること
- 6 防犯や交通安全に関すること
- 7 災害に強いまちづくりに関すること
- 8 緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること
- 9 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
- 10 交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること
- 11 生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること
- 12 文化や芸術の振興に関すること
- 13 地域経済の活性化に関すること
- 14 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
- 15 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること

上記グラフでは、縦軸を満足度、横軸を重要度とし、各施策に対する回答の割合を座標で示した。重要度と満足度の平均値を中間線で区分し、各施策に対する回答結果を4つの領域に分けて示している。(図3-7)

図 3-8 個別目標の重要度・満足度－クロス分析の詳細



重要度・満足度ともに高い領域には「地域医療や救急医療に関すること」、「防犯や交通安全に関すること」がある。この領域にある施策は、質・量ともに住民のニーズに即していると考えられる。

重要度が高く満足度が低い領域には「心身の健康の維持・増進に関すること」、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」がある。この領域については、施策の充実について検討していく必要があると考えられる。

重要度が低く満足度が高い領域には「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」、「イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること」がある。この領域については、施策が効果的に推進されてきたと捉えることもでき、提供するサービスの量について検討する必要があると考えられる。

重要度が低く満足度が低い領域には「生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること」、「文化や芸術の振興に関すること」、「地域経済の活性化に関すること」、「地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること」がある。この領域については、施策のあり方や効果的な推進方法について検討する必要があると考えられる。(図 3-8)

(5) 地域間の重要度・満足度の比較

図3-9 重要度のクロス分析—地域別

施策分野	地区名							
	大和市 全体	中央林間 地区	つきみ野 地区	南林間・ 鶴間地区	相模大塚 地区	大和地区	桜ヶ丘地区	高座渋谷 地区
心身の健康の維持・増進に関する事	24.4	19.4	27.6	22.7	31.3	23.8	24.4	30.8
高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関する事	37.7	30.1	37.6	37.5	46.9	37.6	41.9	36.7
地域医療や救急医療に関する事	37.0	39.4	40.0	35.6	37.5	34.9	37.4	37.9
こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関する事	26.0	24.7	30.5	27.6	29.7	26.7	21.3	25.8
こどもを産み育てやすい環境づくりに関する事	23.8	26.5	18.6	25.4	26.6	22.9	25.0	22.9
防犯や交通安全に関する事	38.0	38.7	39.5	37.4	40.6	40.2	36.8	35.0
災害に強いまちづくりに関する事	21.8	21.1	21.0	23.1	10.9	18.9	25.3	21.7
緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関する事	11.5	13.6	16.7	13.3	9.4	9.6	8.1	10.0
公園や道路などの都市基盤の整備に関する事	12.1	14.7	13.3	12.6	10.9	13.1	10.4	9.6
交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関する事	14.8	15.8	13.8	13.9	10.9	14.9	16.6	15.8
生涯学習や地域のスポーツ活動に関する事	4.3	5.7	3.8	4.3	7.8	4.4	3.4	3.8
文化や芸術の振興に関する事	4.3	5.7	5.7	4.0	-	3.8	5.6	2.9
地域経済の活性化に関する事	9.5	7.2	4.8	10.2	10.9	11.3	10.4	9.6
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関する事	2.6	1.4	1.4	2.7	1.6	3.6	3.1	2.9
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関する事	3.3	2.5	3.3	2.7	3.1	5.6	2.8	2.9

※青色は平均(18.1%)以上

図3-10 満足度のクロス分析—地域別

施策分野	地区名							
	大和市 全体	中央林間 地区	つきみ野 地区	南林間・ 鶴間地区	相模大塚 地区	大和地区	桜ヶ丘地区	高座渋谷 地区
心身の健康の維持・増進に関する事	12.6	9.3	14.3	13.1	20.3	13.1	11.5	13.3
高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関する事	7.8	5.7	3.8	7.8	10.9	7.8	7.6	11.7
地域医療や救急医療に関する事	19.2	17.6	19.0	24.8	20.3	16.7	17.4	13.3
こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関する事	7.6	7.5	7.6	7.6	6.3	6.2	10.4	6.7
こどもを産み育てやすい環境づくりに関する事	5.4	6.1	8.6	3.5	6.3	4.9	7.3	4.6
防犯や交通安全に関する事	15.0	16.8	21.0	15.0	14.1	13.8	14.9	9.6
災害に強いまちづくりに関する事	7.2	8.2	9.0	7.6	9.4	6.9	5.3	5.8
緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関する事	29.9	31.5	32.4	27.7	34.4	24.7	39.9	27.1
公園や道路などの都市基盤の整備に関する事	22.3	18.6	26.2	20.8	20.3	19.3	24.2	31.3
交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関する事	29.3	35.5	23.3	30.6	29.7	30.7	27.0	26.7
生涯学習や地域のスポーツ活動に関する事	13.7	16.8	12.4	11.4	17.2	16.7	12.1	13.8
文化や芸術の振興に関する事	6.3	6.1	5.7	5.2	1.6	8.0	6.5	9.2
地域経済の活性化に関する事	4.3	4.7	2.4	3.9	4.7	3.3	6.2	6.3
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関する事	15.4	9.7	8.6	13.7	7.8	23.6	19.1	13.3
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関する事	4.1	2.9	4.3	4.0	4.7	6.0	3.1	2.9

※赤色は平均(13.3%)以上

重要度・満足度のクロス分析について、各地域において、次のような特徴がみられる。(図3-9)
(図3-10)

【中央林間地区】

- ✓ 重要度は「地域医療や救急医療に関する事」が1番高く、次いで、「防犯や交通安全に関する事」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関する事」が1番高く、次いで、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関する事」、「生涯学習や地域のスポーツ活動に関する事」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関する事」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関する事」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関する事」、「災害に強いまちづくりに関する事」、「心身の健康の維持・増進に関する事」となっている。

【つきみ野地区】

- ✓ 重要度は「地域医療や救急医療に関すること」が1番高く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」が1番高く、次いで、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」、「地域医療や救急医療に関すること」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」となっている。

【南林間・鶴間地区】

- ✓ 重要度は「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が1番高く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」が1番高く、次いで、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」、「地域医療や救急医療に関すること」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」、「心身の健康の維持・増進に関すること」となっている。

【相模大塚地区】

- ✓ 重要度は「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が1番高く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」が1番高く、次いで、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」が高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」となっている。

【大和地区】

- ✓ 重要度は「防犯や交通安全に関すること」が1番高く、次いで、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」が1番高く、次いで、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」、「イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「心身の健康の維持・増進に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」となっている。

【桜ヶ丘地区】

- ✓ 重要度は「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が1番高く、次いで、「地域医療や救急医療に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」が1番高く、次いで、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「心身の健康の維持・増進に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」となっている。

【高座渋谷地区】

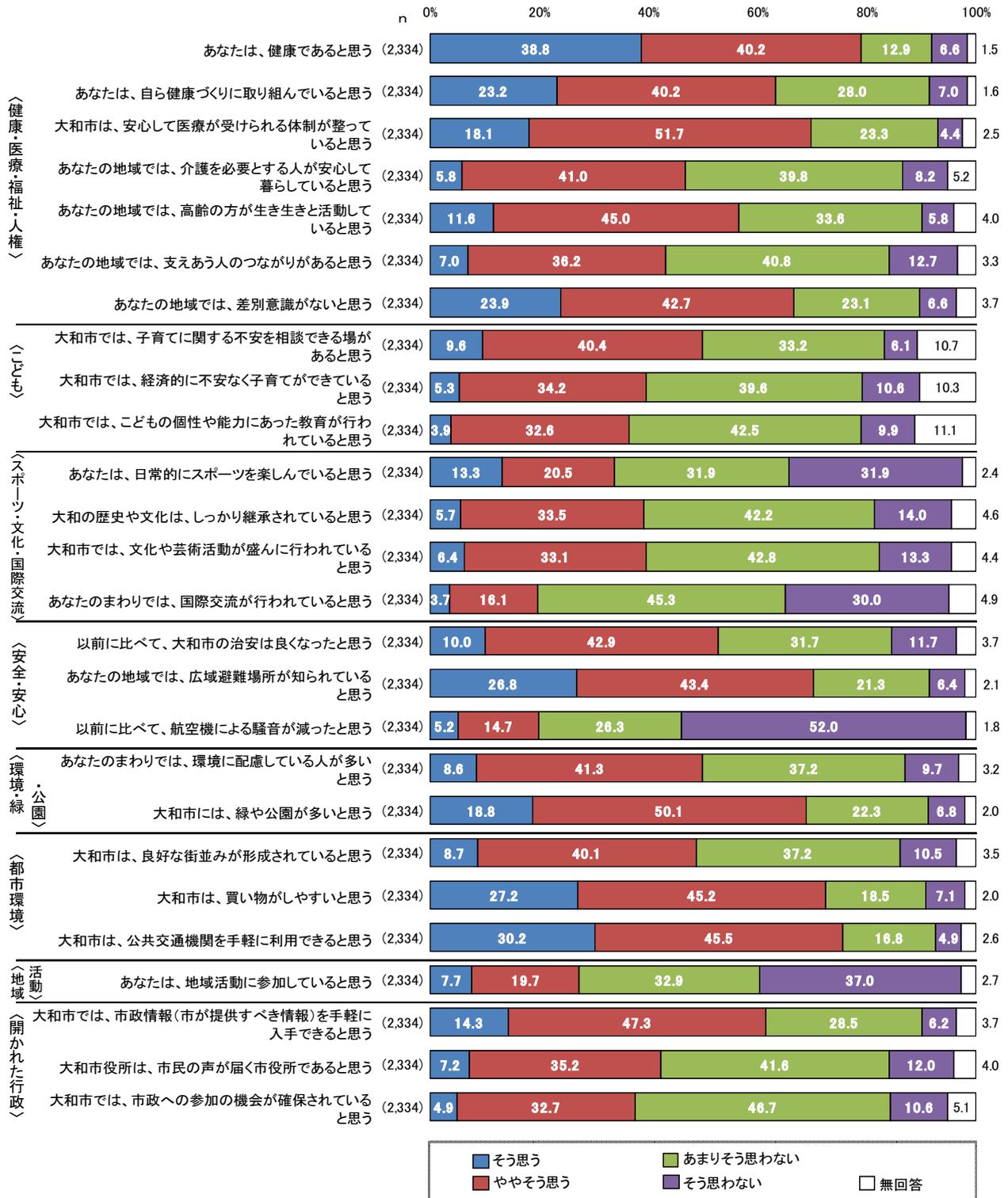
- ✓ 重要度は「地域医療や救急医療に関すること」が1番高く、次いで、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」が高くなっている。
- ✓ 満足度は「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」が1番高く、次いで、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」、「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」の順に高くなっている。
- ✓ 重要度が高く満足度が低い領域について、重要度が高い順に「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「防犯や交通安全に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」となっている。

4. 成果を計る指標について

◇「あなたは健康である」について【そう思う】が8割弱

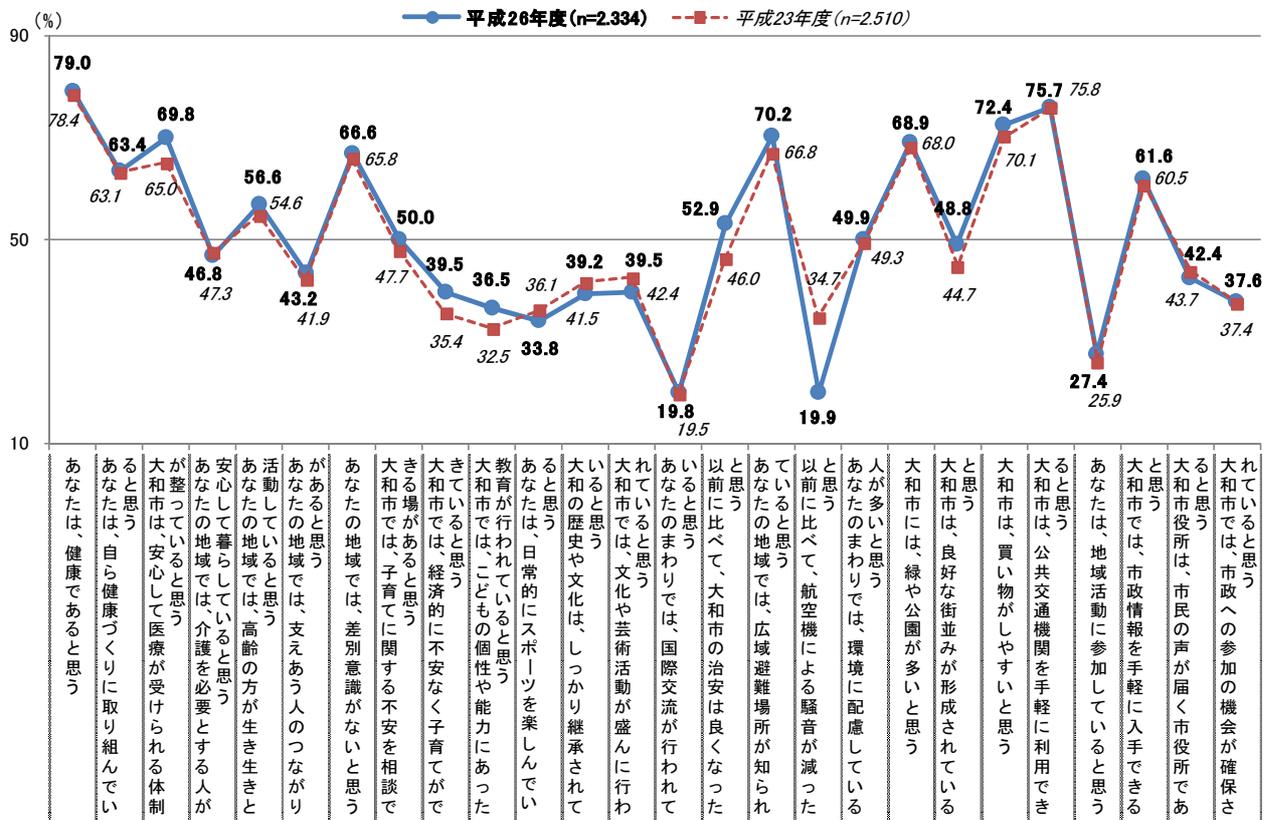
問4. あなたは次あげる項目についてどう思われますか。1～26の項目それぞれについて「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の中から選んで番号に○印をつけてください。(それぞれ○印は1つ)

図4-1 成果を計る指標—全体



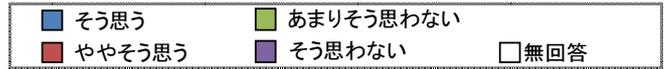
成果を計る指標について、「そう思う」と「ややそう思う」の合計（以下、【そう思う】という）が6割以上となっている項目は、「あなたは、健康であると思う」（79.0%）、「大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う」（75.7%）、「大和市は、買い物がしやすいと思う」（72.4%）、「あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う」（70.2%）、「大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う」（69.8%）、「大和市には、緑や公園が多いと思う」（69.0%）、「あなたの地域では、差別意識がないと思う」（66.6%）、「あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う」（63.3%）、「大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う」（61.6%）の9項目となっている。（図4-1）

図4-2 成果を計る指標－経年比較：【そう思う】について



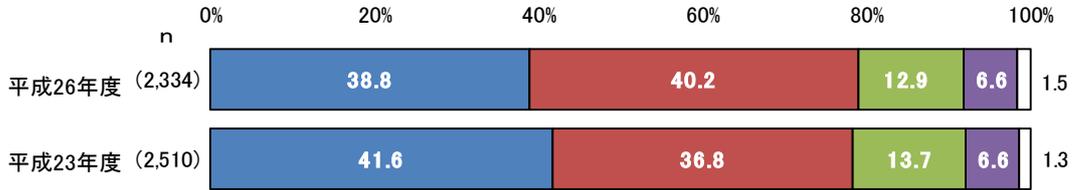
前回結果と比較すると、平成23年度の調査の際に6割以上だった【そう思う】の項目は引き続き6割以上となっている。前回結果よりも4ポイント以上高くなった項目は、「大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う」（4.8ポイント）、「大和市では、経済的に不安なく子育てができていていると思う」（4.1ポイント）、「大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う」（4.0ポイント）、「以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う」（6.9ポイント）、「大和市は、良好な街並みが形成されていると思う」（4.1ポイント）となっている。一方、「以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う」は大幅に減少している。（図4-2）

図4-3 成果を計る指標－項目別経年比較



<健康・医療・福祉・人権>

①あなたは、健康であると思う



【そう思う】は79.0%で、前回結果（78.4%）と比較して0.6ポイント増加している。

②あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う

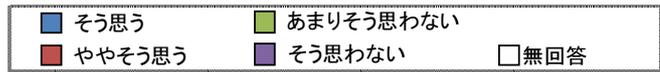


【そう思う】は63.4%で、前回結果（63.1%）と比較して0.3ポイント増加している。

③大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う



【そう思う】は69.8%で、前回結果（65.0%）と比較して4.8ポイント増加している。



④あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う



【そう思う】は46.8%で、前回結果（47.3%）と比較して0.5ポイント減少している。

⑤あなたの地域では、高齢の方が生き生きと活動していると思う



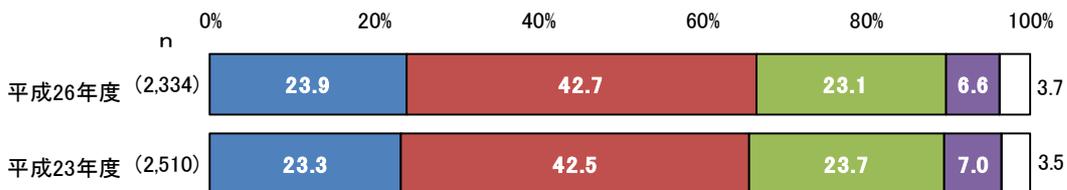
【そう思う】は56.6%で、前回結果（54.6%）と比較して2.0ポイント増加している。

⑥あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う



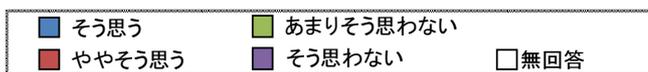
【そう思う】は43.2%で、前回結果（41.9%）と比較して1.3ポイント増加している。

⑦あなたの地域では、差別意識がないと思う



【そう思う】は66.6%で、前回結果（65.8%）と比較して0.8ポイント増加している。

<こども>



⑧大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う



【そう思う】は50.0%で、前回結果（47.7%）と比較して2.3ポイント増加している。

⑨大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う



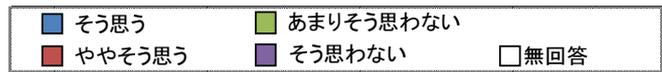
【そう思う】は39.5%で、前回結果（35.3%）と比較して4.2ポイント増加している。

⑩大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う



【そう思う】は36.5%で、前回結果（32.5%）と比較して4.0ポイント増加している。

<スポーツ・文化・国際交流>

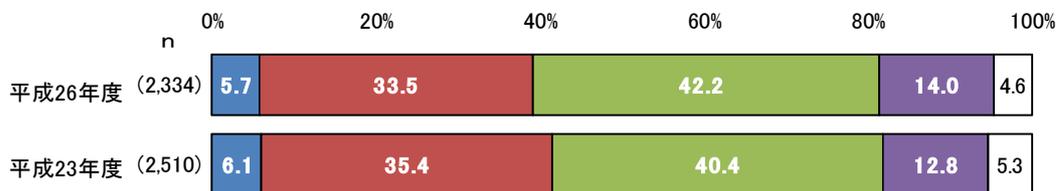


⑪あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う



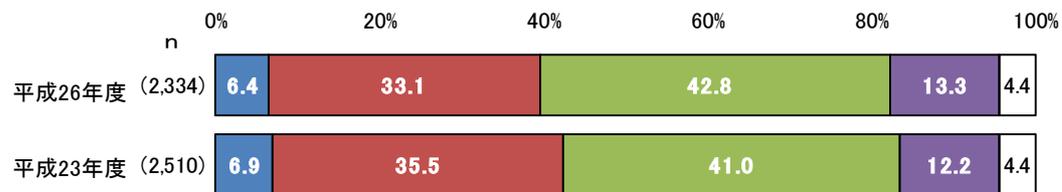
【そう思う】は33.8%で、前回結果（36.1%）と比較して2.3ポイント減少している。

⑫大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う



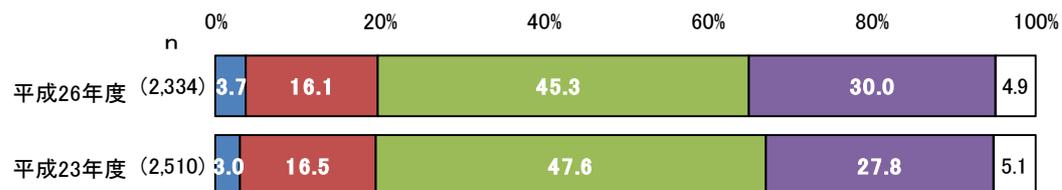
【そう思う】は39.2%で、前回結果（41.5%）と比較して2.3ポイント減少している。

⑬大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う



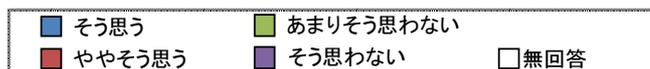
【そう思う】は39.5%で、前回結果（42.4%）と比較して2.9ポイント減少している。

⑭あなたのまわりでは、国際交流が行われていると思う



【そう思う】は19.8%で、前回結果（19.5%）と比較して0.3ポイント増加している。

<安全・安心>



⑮以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う



【そう思う】は52.9%で、前回結果（46.0%）と比較して6.9ポイント増加している。

⑯あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う



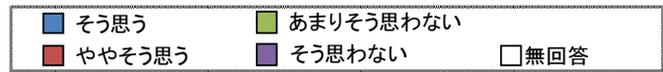
【そう思う】は70.2%で、前回結果（66.8%）と比較して3.4ポイント増加している。

⑰以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う



【そう思う】は19.9%で、前回結果（34.7%）と比較して14.8ポイント減少している。

<環境・緑・公園>



⑱あなたのまわりでは、環境に配慮している人が多いと思う



【そう思う】は49.9%で、前回結果（49.3%）と比較して0.6ポイント増加している。

⑲大和市には、緑や公園が多いと思う



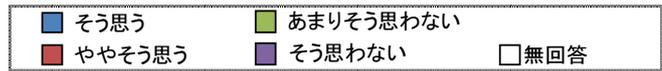
【そう思う】は68.9%で、前回結果（68.0%）と比較して0.9ポイント増加している。

<都市環境>

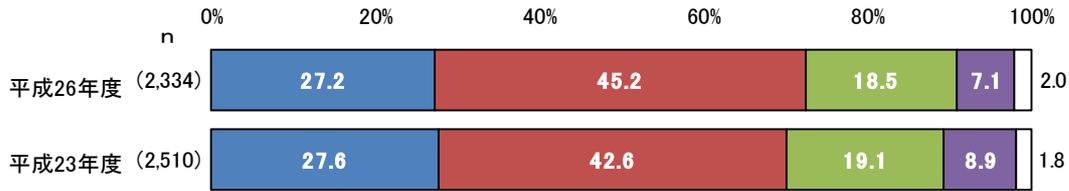
⑳大和市は、良好な街並みが形成されていると思う



【そう思う】は48.8%で、前回結果（44.7%）と比較して4.1ポイント増加している。



⑪大和市は、買い物がしやすいと思う



【そう思う】は72.4%で、前回結果（70.2%）と比較して2.2ポイント増加している。

⑫大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う



【そう思う】は75.7%で、前回結果（75.8%）と比較して0.1ポイント減少している。

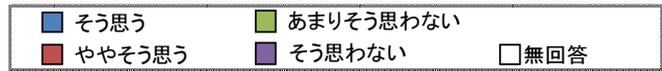
<地域活動>

⑬あなたは、地域活動に参加していると思う

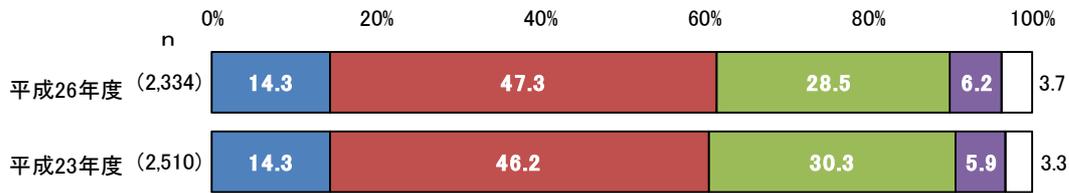


【そう思う】は27.4%で、前回結果（25.9%）と比較して1.5ポイント増加している。

<開かれた行政>



②④大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う



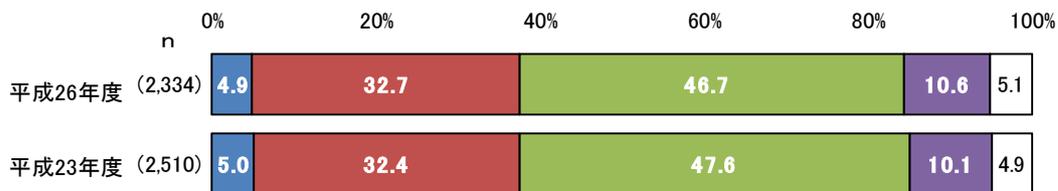
【そう思う】は61.6%、前回結果（60.5%）と比較して1.1ポイント増加している。

②⑤大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う



【そう思う】は42.4%で、前回結果（43.7%）と比較して1.3ポイント減少している。

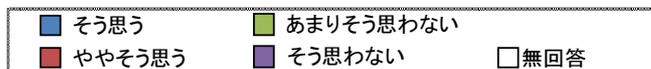
②⑥大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う



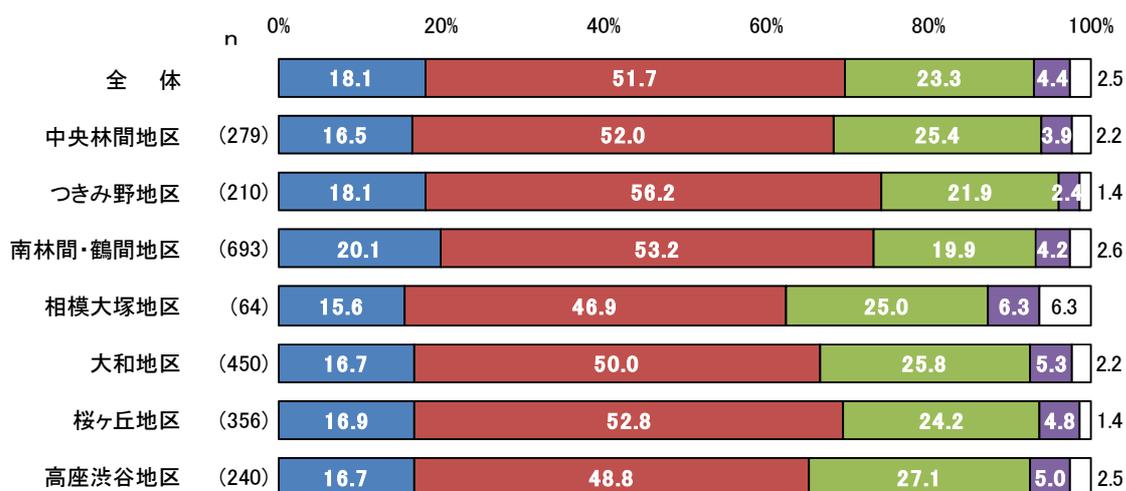
【そう思う】は37.6%で、前回結果（37.4%）と比較して0.2ポイント増加している。

成果を計る指標のうち、前回結果と比較して4.0ポイント以上増減している項目等について、地域別または年齢別にみると、次のとおりとなった。(図4-4)

図4-4 成果を計る指標—項目別詳細

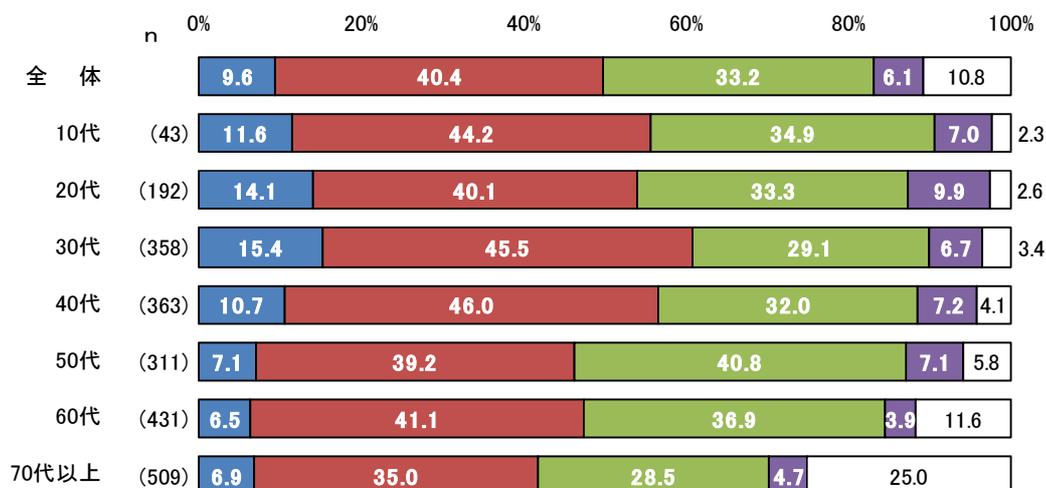


③大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う (地域別)

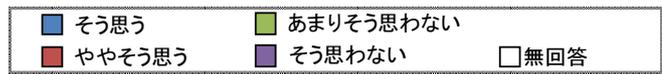


【そう思う】は、つきみ野地区 (74.3%)、南林間・鶴間地区 (73.3%) で7割以上と多くなっている。

⑧大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う (年齢別)



【そう思う】は、30代 (60.9%) で約6割と多くなっている。

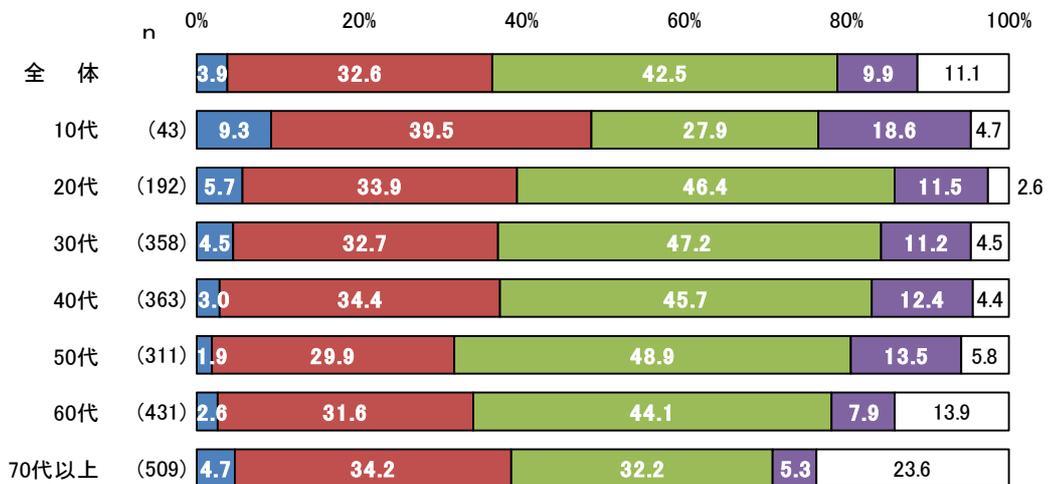


⑨大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う（年齢別）

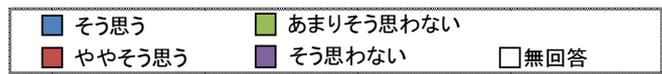


【そう思う】は、40代（44.4%）、30代（40.5%）、50代（40.5%）で4割以上と多くなっている。

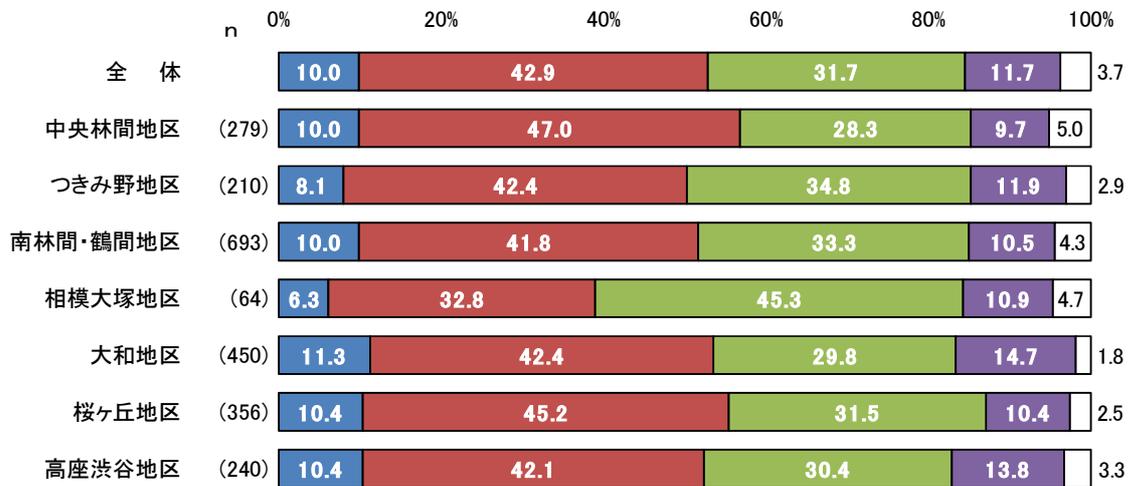
⑩大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う（年齢別）



【そう思う】は、10代（48.8%）で5割近くと多くなっている。

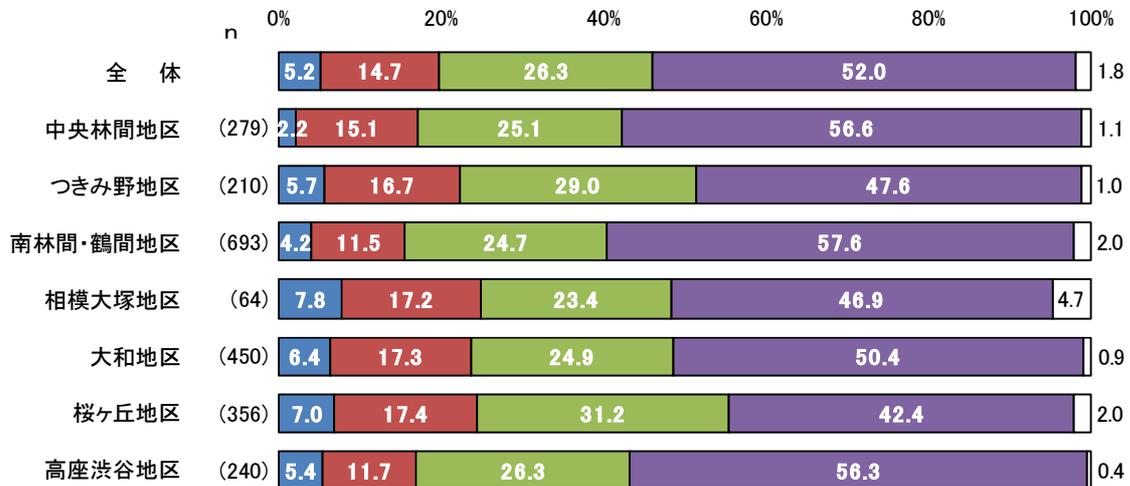


⑮以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う（地域別）

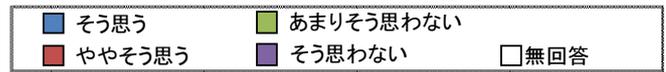


【そう思う】は、相模大塚地区（39.1%）を除くすべての地域で5割以上と多く、特に中央林間地区（57.0%）では6割近くとなっている。

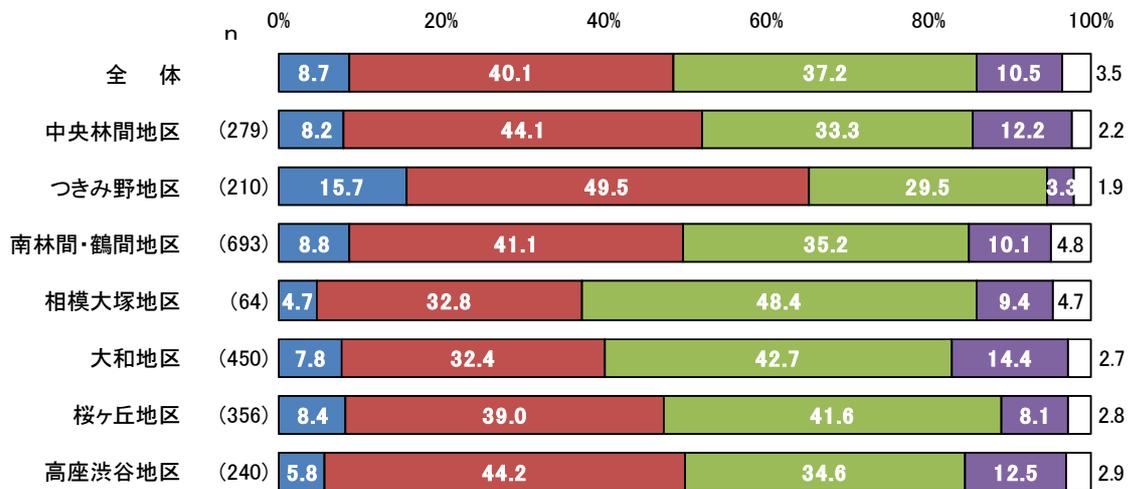
⑰以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う（地域別）



【そう思う】は、つきみ野地区（22.4%）、相模大塚地区（25.0%）、大和地区（23.7%）、桜ヶ丘地区（24.4%）では2割以上となっている。

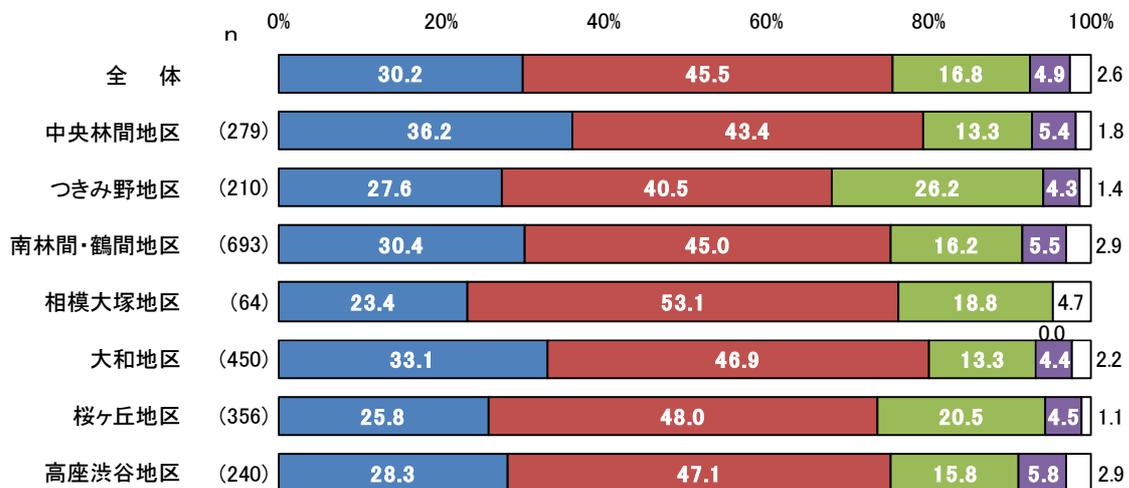


⑳大和市は、良好な街並みが形成されていると思う（地域別）



【そう思う】は、つきみ野地区（65.2%）では6割台半ば、中央林間地区（52.3%）と高座渋谷地区（50.0%）では5割以上と多くなっている。

㉑大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う（地域別）



【そう思う】は、つきみ野地区（68.1%）を除くすべての地域で7割以上と多く、特に大和地区（80.0%）では8割となっている。

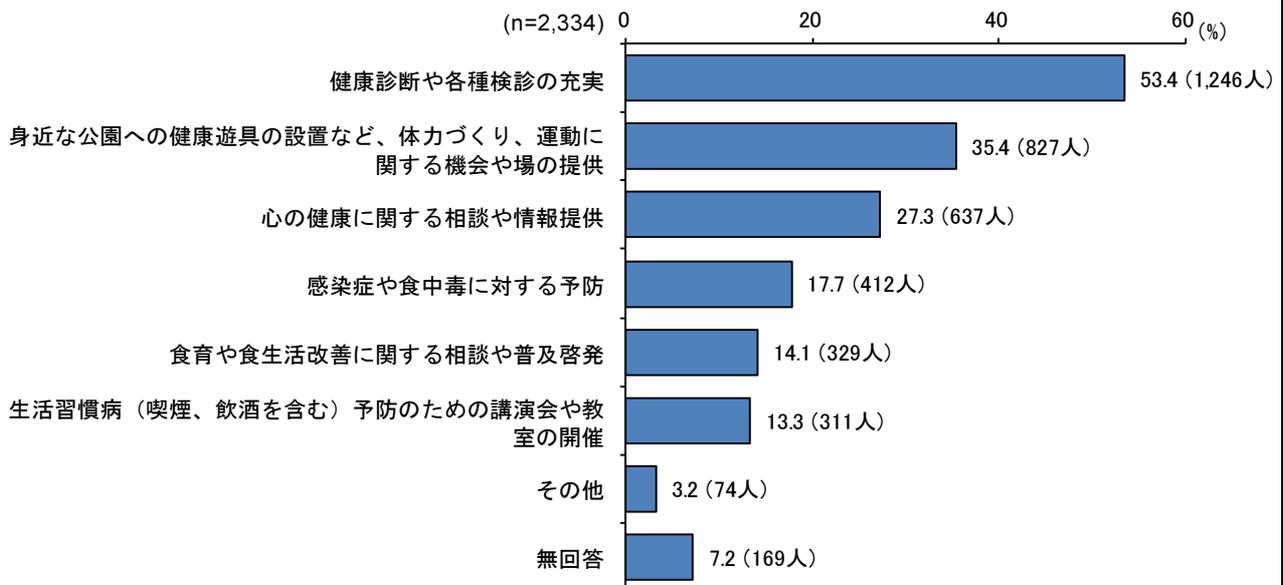
5. 市が重視すべき取り組みについて

(1) 心と身体の健康づくりに関する取り組み

◇「健康診断や各種検診の充実」が5割強

問5. 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-1 心と身体の健康づくりに関する取り組み—全体



「健康診断や各種検診の充実」(53.4%)が最も多く5割強となっている。次いで、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」(35.4%)、「心の健康に関する相談や情報提供」(27.3%)、「感染症や食中毒に対する予防」(17.7%)の順となっている。(図5-1)

図5-1-1 心と身体の健康づくりに関する取り組み一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
健康診断や各種検診の充実	53.4	58.9
身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供	35.4	31.6
心の健康に関する相談や情報提供	27.3	31.6
感染症や食中毒に対する予防	17.7	17.0
食育や食生活改善に関する相談や普及啓発	14.1	17.5
生活習慣病(喫煙、飲酒を含む)予防のための講演会や教室の開催	13.3	12.0
その他	3.2	2.5
無回答	7.2	5.9

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「健康診断や各種検診の充実」が5割以上で1位、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」が3割以上で2位、「心の健康に関する相談や情報提供」が今回は3割近くで3位（前回と同率2位）となっている。（図5-1-1）

図5-1-2 心と身体健康づくりに関する取り組み—性別・年齢別

		(%)							
	調査数 (n)	健康診断や各種検診の充実	身近な公園への健康遊具の設置 など、体力づくり、運動に関する 機会や場の提供	生活習慣病(喫煙、飲酒を含む) 予防のための講演会や教室の 開催	心の健康に関する相談や情報 提供	食育や食生活改善に関する相談 や普及啓発	感染症や食中毒に対する予防	その他	無回答
全体	2,334	53.4	35.4	13.3	27.3	14.1	17.7	3.2	7.2
男性全体	966	55.5	38.0	15.0	27.2	13.9	20.8	3.6	2.7
10代	21	33.3	38.1	19.0	38.1	4.8	28.6	4.8	-
20代	82	58.5	41.5	18.3	29.3	9.8	17.1	1.2	1.2
30代	146	58.2	43.8	11.0	21.9	15.1	21.9	7.5	1.4
40代	153	51.6	47.7	10.5	22.9	15.0	19.6	3.9	2.0
50代	135	49.6	35.6	11.1	30.4	18.5	20.7	4.4	3.7
60代	189	57.7	30.7	22.2	31.2	12.7	24.3	3.7	1.1
70代以上	240	58.8	34.2	15.4	26.7	12.9	18.8	1.3	5.4
女性全体	1,236	56.1	36.2	13.1	29.4	15.6	16.6	3.0	3.5
10代	22	59.1	50.0	13.6	36.4	9.1	9.1	-	-
20代	110	56.4	37.3	8.2	26.4	11.8	26.4	4.5	3.6
30代	212	61.3	42.5	9.0	25.0	16.0	16.5	3.8	0.9
40代	210	63.3	34.3	14.3	31.0	14.8	15.2	2.9	1.0
50代	176	54.5	35.2	15.9	35.2	17.0	11.4	4.0	1.7
60代	242	52.9	37.6	16.5	25.6	15.3	17.8	2.5	5.4
70代以上	262	50.4	30.2	12.6	32.4	17.6	16.4	1.5	7.3

1位 2位

性別で見ると、男女ともに「健康診断や各種検診の充実」が1位、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」が2位、「心の健康に関する相談や情報提供」が3位となっている。特に女性30代～40代では「健康診断や各種検診の充実」が6割以上と多くなっている。

性別・年齢別で見ると、「心の健康に関する相談や情報提供」が男性10代では1位、男性60代と女性50代及び70代以上では2位と多くなっている。また、男性60代では「生活習慣病(喫煙、飲酒を含む) 予防のための講演会や教室の開催」が2割強と他の年代と比較して多くなっている。

(図5-1-2)

図5-1-3 心と身体の健康づくりに関する取り組み—地域別

	調査数 (n)	(%)							
		健康診断や各種検診の充実	身近な公園への健康遊具の設置 など、体力づくり、運動に関する 機会や場の提供	生活習慣病(喫煙、飲酒を含む) 予防のための講演会や教室の 開催	心の健康に関する相談や情報 提供	食育や食生活改善に関する相談 や普及啓発	感染症や食中毒に対する予防	その他	無回答
全 体	2,334	53.4	35.4	13.3	27.3	14.1	17.7	3.2	7.2
中央林間地区	279	53.0	38.0	15.1	25.4	15.4	19.0	3.6	5.0
つきみ野地区	210	52.4	35.7	14.8	29.0	14.3	17.1	3.3	5.7
南林間・鶴間地区	693	51.1	34.2	12.8	29.7	13.3	18.5	3.2	7.4
相模大塚地区	64	57.8	39.1	9.4	23.4	3.1	17.2	3.1	15.6
大和地区	450	52.7	37.6	12.2	26.9	14.9	16.0	4.2	6.4
桜ヶ丘地区	356	58.4	32.3	13.5	25.3	13.8	17.1	2.2	8.4
高座渋谷地区	240	55.8	37.9	12.9	25.4	16.7	16.7	2.1	7.5

1位	2位
----	----

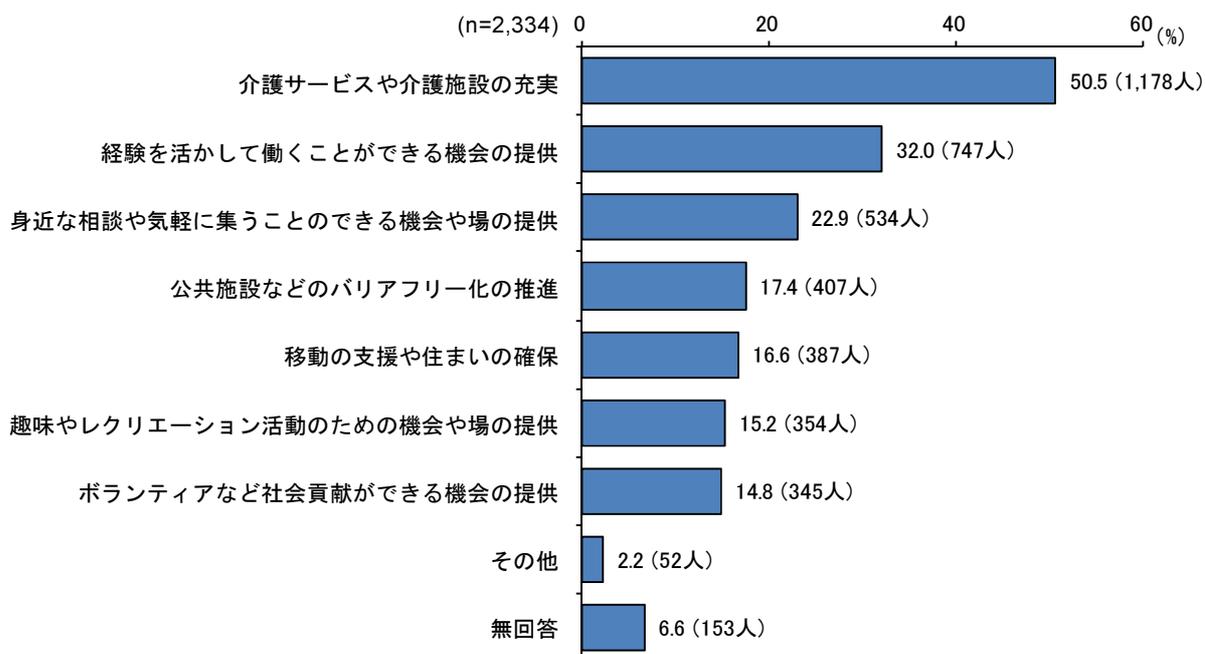
地域別でみると、すべての地域において「健康診断や各種検診の充実」が5割以上で1位、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」が3割以上で2位、「心の健康に関する相談や情報提供」が2割以上で3位となっている。(図5-1-3)

(2) 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み

◇「介護サービスや介護施設の充実」が約5割

問6. 高齢の方や障がいのある方に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-2 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み－全体



「介護サービスや介護施設の充実」(50.5%)が最も多く約5割となっている。次いで、「経験を活かして働くことができる機会の提供」(32.0%)、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」(22.9%)、「公共施設などのバリアフリー化の推進」(17.4%)の順となっている。(図5-2)

図5-2-1 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
介護サービスや介護施設の充実	50.5	52.3
経験を活かして働くことができる機会の提供	32.0	33.5
身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供	22.9	22.3
公共施設などのバリアフリー化の推進	17.4	17.6
移動の支援や住まいの確保	16.6	19.6
趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供	15.2	15.9
ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供	14.8	14.1
その他	2.2	1.5
無回答	6.6	5.4

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「介護サービスや介護施設の充実」が5割以上で1位、「経験を活かして働くことができる機会の提供」が3割以上で2位、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」が2割強で3位となり、前回同様の順位となっている。(図5-2-1)

図5-2-2 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み—性別・年齢別

(%)

	調査数 (n)	介護サービスや介護施設の充実	趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供	ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供	経験を活かして働くことができる機会の提供	身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供	移動の支援や住まいの確保	公共施設などのバリアフリー化の推進	その他	無回答
全体	2,334	50.5	15.2	14.8	32.0	22.9	16.6	17.4	2.2	6.6
男性全体	966	53.3	18.4	15.9	34.2	23.8	16.0	16.0	2.4	2.2
10代	21	38.1	19.0	9.5	23.8	23.8	9.5	28.6	4.8	-
20代	82	41.5	14.6	19.5	32.9	24.4	18.3	25.6	-	3.7
30代	146	39.0	15.1	15.1	42.5	21.9	26.0	24.0	2.7	0.7
40代	153	47.1	19.6	16.3	39.9	12.4	19.0	21.6	3.3	2.0
50代	135	56.3	11.1	20.7	33.3	20.7	17.8	11.1	4.4	3.0
60代	189	63.0	21.7	17.5	31.7	26.5	11.1	9.5	2.6	-
70代以上	240	62.1	22.5	11.7	29.2	31.7	10.8	11.3	0.8	4.2
女性全体	1,236	52.5	13.7	14.8	32.7	24.2	18.4	20.0	2.3	2.6
10代	22	40.9	4.5	13.6	36.4	18.2	22.7	36.4	4.5	4.5
20代	110	40.9	17.3	17.3	31.8	23.6	18.2	24.5	0.9	2.7
30代	212	41.5	13.7	14.2	34.0	23.6	22.2	28.3	3.3	0.9
40代	210	52.9	11.4	15.7	38.1	20.5	21.0	18.6	2.4	1.4
50代	176	48.3	13.6	17.0	38.6	21.6	21.6	20.5	2.8	1.1
60代	242	62.0	13.2	16.1	34.7	24.8	17.4	11.6	1.2	2.5
70代以上	262	61.5	15.3	11.1	21.4	29.4	12.2	18.3	1.9	5.7

1位	2位
----	----

性別でみると、男女ともに「介護サービスや介護施設の充実」が1位、「経験を活かして働くことができる機会の提供」が2位となっている。特に男性30代では「経験を活かして働くことができる機会の提供」が4割強となり、他の年代と比較して多くなっている。

性別・年齢別でみると、男女ともに70代以上では「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」が2位、10代では「公共施設などのバリアフリー化の推進」が2位となり、他の年代と比較して多くなっている。(図5-2-2)

図5-2-3 高齢の方や障がいのある方に関する取り組み—地域別

		(%)								
	調査数 (n)	介護サービスや介護施設の充実	趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供	ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供	経験を活かして働くことができる機会の提供	身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供	移動の支援や住まいの確保	公共施設などのバリアフリー化の推進	その他	無回答
全 体	2,334	50.5	15.2	14.8	32.0	22.9	16.6	17.4	2.2	6.6
中央林間地区	279	57.7	14.0	19.4	26.9	19.7	18.6	19.4	2.5	3.9
つきみ野地区	210	53.8	13.3	19.5	33.3	24.3	11.9	17.6	1.0	4.8
南林間・鶴間地区	693	50.1	15.6	15.2	33.0	21.1	15.9	17.9	2.9	7.2
相模大塚地区	64	39.1	12.5	15.6	34.4	18.8	17.2	12.5	3.1	14.1
大和地区	450	43.3	16.7	14.9	34.2	23.1	17.3	17.8	2.7	6.4
桜ヶ丘地区	356	52.5	16.9	8.4	30.9	25.8	17.7	16.6	1.1	7.3
高座渋谷地区	240	51.3	13.8	12.9	32.9	25.4	18.3	15.0	1.7	5.8

1位	2位
----	----

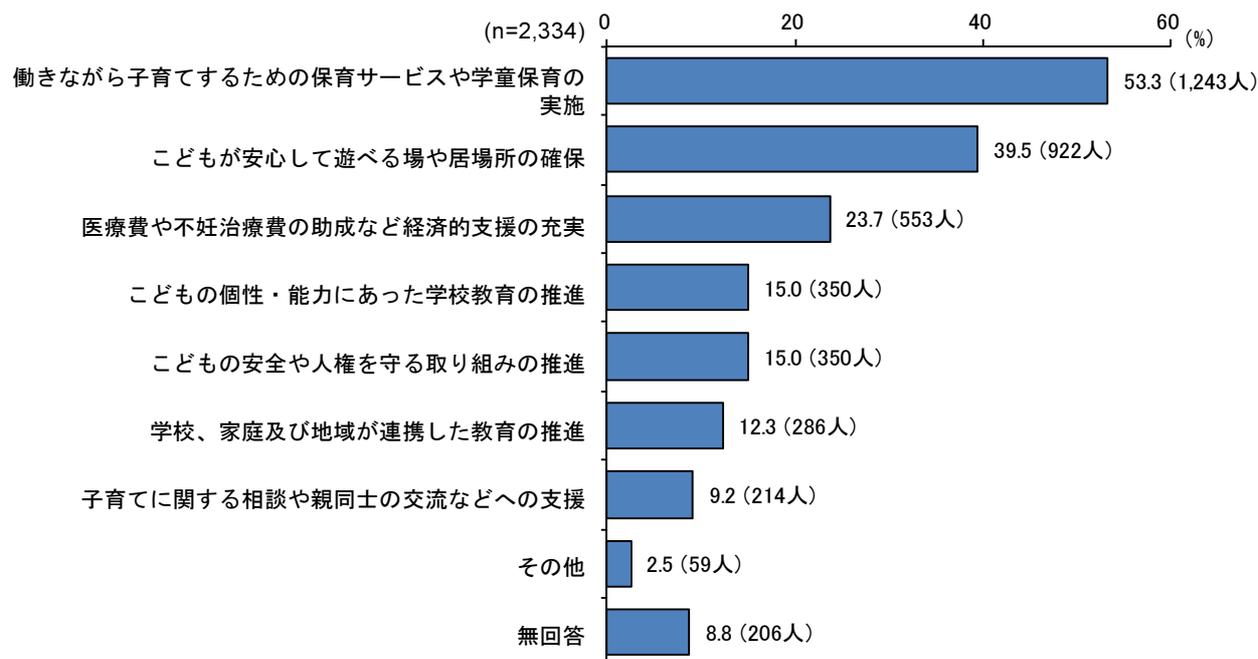
地域別でみると、すべての地域において「介護サービスや介護施設の充実」が1位となっている。しかし、中央林間地区では6割近くであるのに対し、相模大塚地区では4割弱となっており、地域間での違いがみられる。また、すべての地域において「経験を活かして働くことができる機会の提供」が2位となっているが、中央林間地区のみ2割台となった。(図5-2-3)

(3) 子育てに関する取り組み

◇「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が5割強

問7. 子育てに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-3 子育てに関する取り組み—全体



「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」(53.3%)が最も多く5割強となっている。次いで、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」(39.5%)、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」(23.7%)、「こどもの個性・能力にあった学校教育の推進」(15.0%)、「こどもの安全や人権を守る取り組みの推進」(15.0%)の順となっている。(図5-3)

図5-3-1 子育てに関する取り組み—経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施	53.3	48.7
こどもが安心して遊べる場や居場所の確保	39.5	36.9
医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実	23.7	31.7
こどもの個性・能力にあった学校教育の推進	15.0	15.0
こどもの安全や人権を守る取り組みの推進	15.0	16.3
学校、家庭及び地域が連携した教育の推進	12.3	13.4
子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援	9.2	9.6
その他	2.5	1.8
無回答	8.8	7.9

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が1位、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」が2位、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」が3位の項目となり、前回同様の順位となった。また、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」は前回より4.6ポイント増え5割強となった。(図5-3-1)

図5-3-2 子育てに関する取り組み—性別・年齢別

(%)										
	調査数 (n)	働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施	経済的支援の充実 医療費や不妊治療費の助成など	交流などへの支援 子育てに関する相談や親同士の	居場所の確保 こどもが安心して遊べる場や	学校教育の推進 こどもの個性・能力にあった	教育の推進 学校、家庭及び地域が連携した	組みの推進 こどもの安全や人権を守る取り	その他	無回答
全体	2,334	53.3	23.7	9.2	39.5	15.0	12.3	15.0	2.5	8.8
男性全体	966	55.7	22.0	10.5	40.3	17.7	14.6	16.0	2.6	3.8
10代	21	23.8	19.0	-	47.6	52.4	9.5	14.3	-	-
20代	82	57.3	29.3	6.1	39.0	19.5	11.0	11.0	2.4	2.4
30代	146	64.4	37.0	4.1	43.8	11.0	10.3	15.8	3.4	1.4
40代	153	48.4	27.5	9.8	41.2	20.3	15.7	18.3	2.6	2.0
50代	135	54.8	20.0	11.1	34.1	17.8	19.3	16.3	3.7	4.4
60代	189	59.8	15.3	12.2	41.8	20.6	19.0	14.3	2.6	2.1
70代以上	240	54.6	13.8	15.4	39.6	14.2	12.1	17.9	1.7	8.3
女性全体	1,236	56.2	27.1	8.8	42.2	14.0	11.1	15.3	2.8	5.3
10代	22	59.1	54.5	13.6	36.4	9.1	-	9.1	4.5	-
20代	110	66.4	35.5	7.3	32.7	12.7	13.6	10.0	0.9	4.5
30代	212	63.2	42.9	9.4	46.2	9.9	8.5	8.0	3.3	1.9
40代	210	51.0	31.4	6.2	45.7	19.5	7.6	16.7	3.8	1.9
50代	176	58.5	24.4	8.5	37.5	17.6	10.2	18.2	3.4	3.4
60代	242	52.9	21.1	9.5	42.1	14.9	13.6	19.8	2.1	5.0
70代以上	262	51.9	12.6	10.3	43.9	10.7	13.7	16.8	2.3	12.6

1位 **2位**

性別でみると、男女ともに「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が1位、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」が2位となっている。特に女性20代～30代と男性30代では、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が6割以上と多くなっている。

性別・年齢別でみると、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」が特に女性10代～30代と男性30代で多い。また、男性10代では「こどもの個性・能力にあった学校教育の推進」が5割台半ばと多くなっている。(図5-3-2)

図5-3-3 子育てに関する取り組み—地域別

		(%)								
	調査数 (n)	働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施	経済的支援の充実 医療費や不妊治療費の助成など	交流などへの支援 子育てに関する相談や親同士の	居場所の確保 子どもが安心して遊べる場や	学校教育の推進 こどもの個性・能力にあった	学校、家庭及び地域が連携した 教育の推進	こどもの安全や人権を守る 取り組みの推進	その他	無回答
全 体	2,334	53.3	23.7	9.2	39.5	15.0	12.3	15.0	2.5	8.8
中央林間地区	279	58.8	24.7	8.6	48.7	11.8	11.8	13.6	2.5	5.0
つきみ野地区	210	52.4	24.3	9.5	40.5	16.2	12.9	12.4	1.0	9.0
南林間・鶴間地区	693	55.1	22.5	8.8	36.1	16.0	11.7	15.4	2.7	9.4
相模大塚地区	64	53.1	25.0	6.3	40.6	7.8	9.4	18.8	4.7	14.1
大和地区	450	53.8	23.8	8.9	39.8	15.3	10.4	16.2	3.8	7.8
桜ヶ丘地区	356	49.4	23.0	9.8	40.2	16.9	13.2	14.0	2.0	9.0
高座渋谷地区	240	49.2	27.5	9.6	35.4	15.0	16.7	15.0	1.3	10.4

1位	2位
----	----

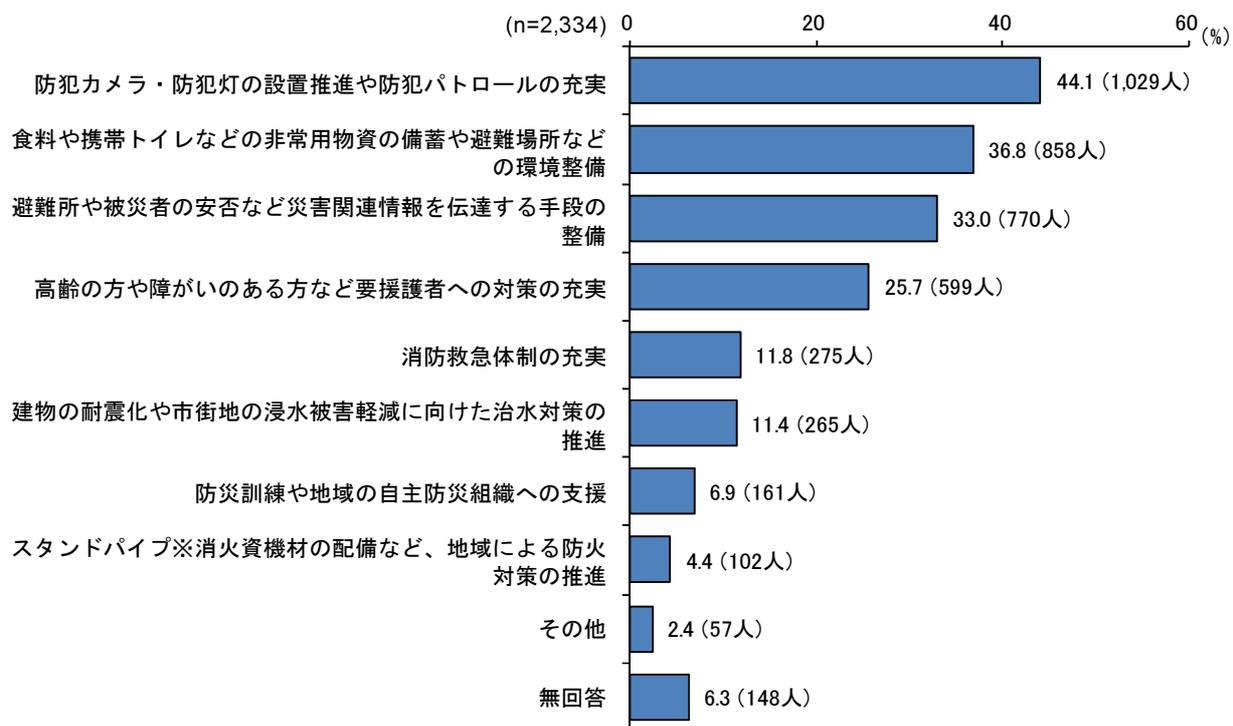
地域別でみると、すべての地域において「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が1位となっている。特に中央林間地区では6割近くと多くなっている。また、中央林間地区では「子どもが安心して遊べる場や居場所の確保」が5割近くと他の地区と比較して多くなっている。(図5-3-3)

(4) 安全・安心に関する取り組み

◇「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」が4割台半ば

問8. 安全・安心に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-4 安全・安心に関する取り組み—全体



※スタンドパイプとは、消火栓や排水栓に接続して住民の方が消火活動を行える資機材

「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」(44.1%)が最も多く4割台半ばとなっている。次いで、「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」(36.8%)、「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」(33.0%)、「高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実」(25.7%)の順となっている。(図5-4)

図5-4-1 安全・安心に関する取り組み一経年比較

(%)

	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実	44.1	—
食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備	36.8	—
(※食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄)	—	38.2
(※避難場所や避難路などの整備)	—	22.2
避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備	33.0	44.9
高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実	25.7	27.9
消防救急体制の充実	11.8	9.4
建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進	11.4	18.2
防災訓練や地域の自主防災組織への支援	6.9	8.0
スタンドパイプ消火資機材の配備など、地域による防火対策の推進	4.4	—
その他	2.4	1.1
無回答	6.3	5.3

1位	2位
----	----

※平成23年度では質問項目を2つに分けていたが、平成26年度では質問項目を1つにまとめたもの。

前回結果と比較すると、今回新たに加わった項目「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」が4割台半ばで1位となり、前回1位の「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」が今回は3位となっている。「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」は、前回調査の項目をまとめたものであるが、前回同様2位となっている。

(図5-4-1)

図5-4-2 安全・安心に関する取り組み—性別・年齢別

		(%)										
	調査数 (n)	避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備	食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備	防災訓練や地域の自主防災組織への支援	高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実	スタンバイ消火資機材の配備など、地域による防火対策の推進	建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進	消防救急体制の充実	防犯カメラ・防犯灯の設置推進	防犯パトロールの充実	その他	無回答
全体	2,334	33.0	36.8	6.9	25.7	4.4	11.4	11.8	44.1	2.4	6.3	
男性全体	966	29.3	35.1	9.3	28.1	4.7	11.9	14.8	47.9	3.1	2.2	
10代	21	28.6	28.6	14.3	19.0	4.8	33.3	14.3	23.8	9.5	-	
20代	82	41.5	34.1	4.9	17.1	4.9	22.0	15.9	41.5	2.4	-	
30代	146	25.3	37.0	13.0	20.5	4.8	17.1	19.2	50.0	2.7	0.7	
40代	153	23.5	35.3	7.8	20.9	2.6	17.0	14.4	55.6	4.6	2.0	
50代	135	28.1	43.0	12.6	19.3	4.4	7.4	15.6	48.1	3.7	3.0	
60代	189	29.6	29.1	9.0	33.9	5.3	5.3	14.3	57.7	3.7	1.1	
70代以上	240	31.7	35.0	7.5	42.1	5.4	7.9	12.1	38.3	1.3	4.6	
女性全体	1,236	38.7	41.2	5.5	25.3	4.5	12.0	10.4	44.7	1.9	2.3	
10代	22	50.0	50.0	4.5	18.2	-	27.3	9.1	22.7	-	4.5	
20代	110	41.8	39.1	5.5	18.2	2.7	19.1	8.2	42.7	2.7	2.7	
30代	212	38.2	48.6	6.6	18.9	4.2	20.8	8.0	43.4	3.8	-	
40代	210	35.2	46.7	6.7	18.1	3.3	13.8	10.5	51.9	2.4	0.5	
50代	176	39.8	46.0	4.5	19.9	5.7	11.4	10.8	46.0	1.1	0.6	
60代	242	32.6	40.9	5.0	29.8	6.2	8.3	11.6	47.5	0.8	2.9	
70代以上	262	44.3	28.2	5.0	39.7	4.6	3.1	12.2	39.3	1.1	5.7	

1位 2位

性別でみると、男女ともに「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」が1位、「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」が2位となっている。

性別・年齢別でみると、「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」が女性10代では5割、男女20代と女性70代以上では4割以上と多くなっている。「高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実」は男女ともに60代以上で多くなり、「建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進」は男女ともに10代で多くなっている。(図5-4-2)

図5-4-3 安全・安心に関する取り組み—地域別

		(%)										
	調査数 (n)	避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備	食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備	防災訓練や地域の自主防災組織への支援	高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実	スタンバイ消防資機材の配備など、地域による防火対策の推進	建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進	消防救急体制の充実	防犯カメラ・防犯灯の設置推進	防犯カメラ・防犯灯の充実	その他	無回答
全体	2,334	33.0	36.8	6.9	25.7	4.4	11.4	11.8	44.1	2.4	6.3	
中央林間地区	279	34.4	37.3	9.0	26.2	4.3	12.5	13.3	43.0	3.2	3.6	
つきみ野地区	210	30.5	43.3	8.6	29.5	3.8	11.4	13.3	37.1	2.4	3.8	
南林間・鶴間地区	693	33.6	33.8	7.5	23.5	3.3	11.5	13.1	44.4	3.6	6.9	
相模大塚地区	64	32.8	34.4	3.1	25.0	4.7	9.4	10.9	48.4	1.6	12.5	
大和地区	450	29.8	39.1	5.8	26.7	4.0	11.1	11.6	44.0	2.0	6.9	
桜ヶ丘地区	356	32.0	35.1	7.3	25.0	7.9	11.2	9.8	46.1	1.1	7.3	
高座渋谷地区	240	36.7	39.2	4.2	25.8	3.8	11.3	7.9	46.3	1.3	6.3	

1位	2位
----	----

地域別でみると、つきみ野地区を除くすべての地区で「防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実」が4割以上と多くなっている。一方、つきみ野地区は「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」が4割強と他の地区と比較して多くなっている。

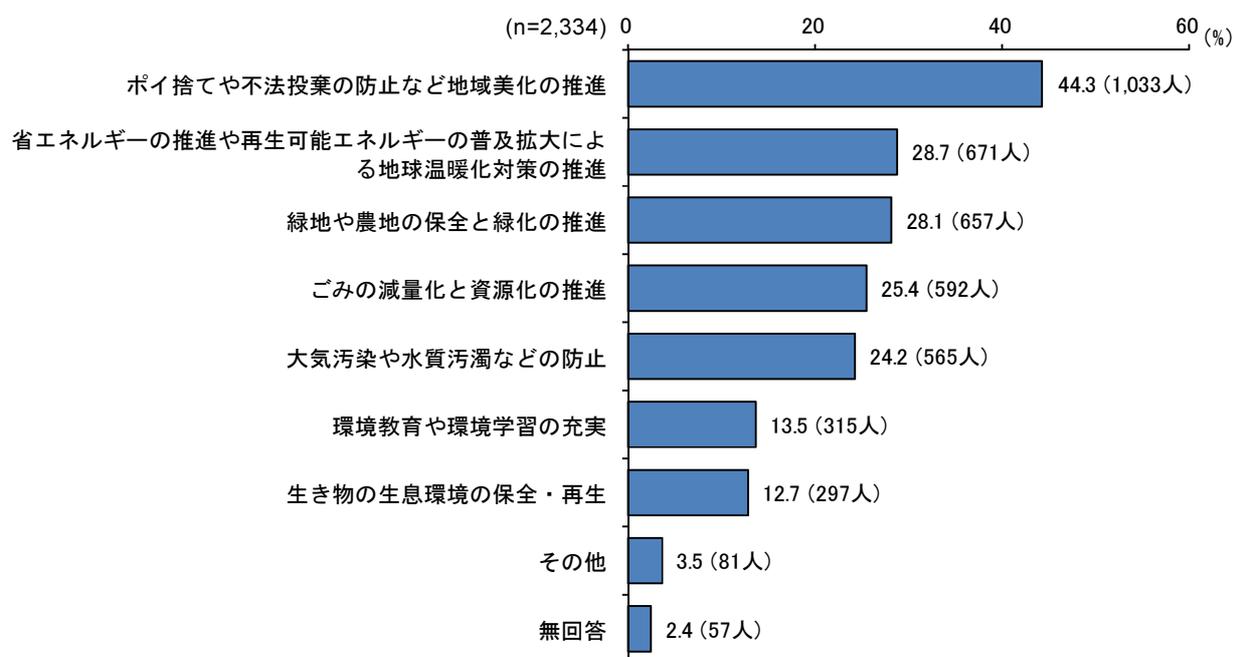
(図5-4-3)

(5) 環境に関する取り組み

◇「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」が4割台半ば

問9. 環境に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-5 環境に関する取り組み—全体



「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」(44.3%)が最も多く4割台半ばとなっている。次いで、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」(28.7%)、「緑地や農地の保全と緑化の推進」(28.1%)、「ごみの減量化と資源化の推進」(25.4%)、「大気汚染や水質汚濁などの防止」(24.2%)の順となっている。(図5-5)

図5-5-1 環境に関する取り組み—経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進	44.3	48.4
省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進	28.7	18.5
緑地や農地の保全と緑化の推進	28.1	29.2
ごみの減量化と資源化の推進	25.4	32.1
大気汚染や水質汚濁などの防止	24.2	25.1
環境教育や環境学習の充実	13.5	14.7
生き物の生息環境の保全・再生	12.7	12.1
その他	3.5	3.0
無回答	2.4	2.2
	1位	2位

前回結果と比較すると、「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」が4割以上で1位、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」が前回より10ポイント以上増加し、今回は2位となっている。「緑地や農地の保全と緑化の推進」は前回同様3位となっている。(図5-5-1)

図5-5-2 環境に関する取り組み—性別・年齢別

		(%)								
	調査数 (n)	ごみの減量化と資源化の推進	地域美化の推進 ポイ捨てや不法投棄の防止など	省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進	緑地や農地の保全と緑化の推進	生き物の生息環境の保全・再生	環境教育や環境学習の充実	大気汚染や水質汚濁などの防止	その他	無回答
全体	2,334	25.4	44.3	28.7	28.1	12.7	13.5	24.2	3.5	2.4
男性全体	966	23.2	46.1	28.7	29.7	15.2	13.7	21.2	3.5	2.2
10代	21	23.8	47.6	14.3	33.3	19.0	9.5	19.0	9.5	-
20代	82	22.0	50.0	22.0	31.7	19.5	9.8	19.5	2.4	1.2
30代	146	18.5	52.7	27.4	25.3	13.0	15.8	23.3	5.5	1.4
40代	153	19.0	52.9	26.1	28.1	19.0	14.4	20.9	2.6	1.3
50代	135	33.3	37.8	30.4	31.9	13.3	10.4	17.0	7.4	2.2
60代	189	23.3	46.0	33.9	27.5	16.4	16.4	19.6	3.2	1.1
70代以上	240	23.3	40.8	29.6	32.9	12.5	13.3	24.6	0.8	4.6
女性全体	1,236	27.3	43.8	29.0	27.0	10.7	12.9	26.7	3.2	2.2
10代	22	40.9	36.4	31.8	22.7	9.1	4.5	31.8	-	-
20代	110	29.1	41.8	19.1	33.6	17.3	11.8	20.9	6.4	0.9
30代	212	26.9	42.5	27.8	26.4	11.3	14.6	25.5	4.7	1.9
40代	210	30.0	48.1	28.6	30.5	10.0	10.0	26.2	3.3	-
50代	176	25.0	44.3	32.4	26.1	11.9	12.5	25.0	2.8	1.1
60代	242	25.6	42.6	34.7	25.2	8.7	12.8	27.3	3.3	2.9
70代以上	262	27.1	43.9	26.3	24.8	9.2	15.3	30.9	0.8	4.6

1位 2位

性別でみると、男女ともに「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」が1位、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」が女性2位、「緑地や農地の保全と緑化の推進」が男性2位となっている。

性別・年齢別でみると、男性30代・60代で「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」が2位、女性20代・40代で「緑地や農地の保全と緑化の推進」が2位の項目となっている。また、女性10代・70代以上では「大気汚染や水質汚濁などの防止」が3割以上と多くなっている。(図5-5-2)

図5-5-3 環境に関する取り組み—地域別

		(%)								
	調査数 (n)	ごみの減量化と資源化の推進	地域美化の推進 ポイ捨てや不法投棄の防止など	省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進	緑地や農地の保全と緑化の推進	生き物の生息環境の保全・再生	環境教育や環境学習の充実	大気汚染や水質汚濁などの防止	その他	無回答
全 体	2,334	25.4	44.3	28.7	28.1	12.7	13.5	24.2	3.5	2.4
中央林間地区	279	26.2	44.4	26.9	34.8	9.3	12.2	25.8	4.7	1.8
つきみ野地区	210	29.0	38.1	27.1	37.1	15.7	13.3	19.5	3.8	1.9
南林間・鶴間地区	693	26.6	44.2	31.0	25.3	11.7	16.2	21.2	3.2	2.6
相模大塚地区	64	17.2	43.8	20.3	28.1	18.8	14.1	31.3	3.1	6.3
大和地区	450	25.1	45.3	26.7	28.9	12.9	11.6	24.7	3.3	2.0
桜ヶ丘地区	356	25.6	43.8	32.3	24.4	14.9	12.1	28.1	2.2	1.4
高座渋谷地区	240	21.3	48.3	27.1	27.5	12.9	13.3	27.9	5.4	0.8

1位	2位
----	----

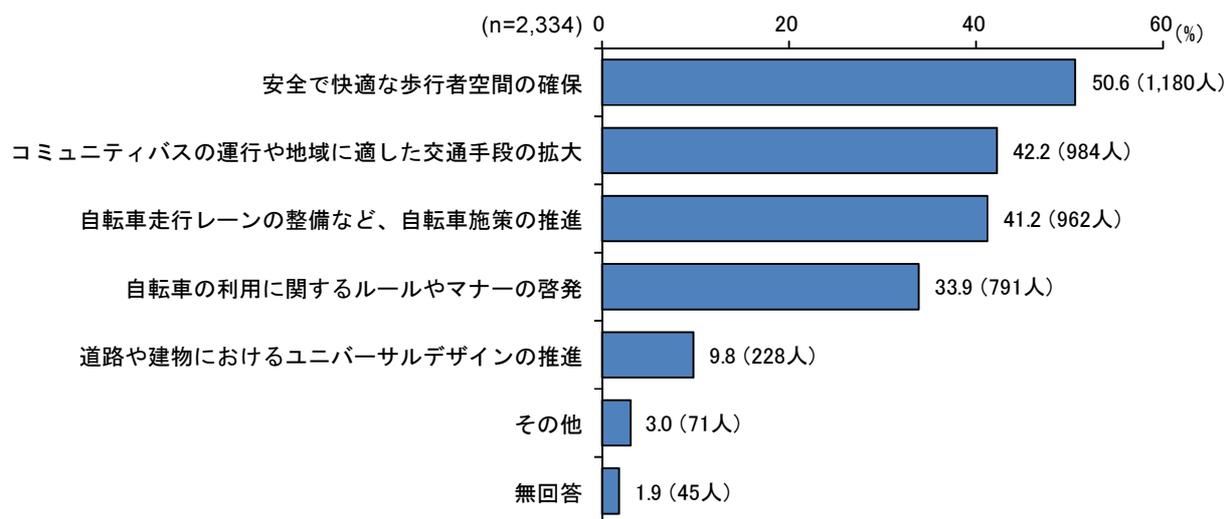
地域別でみると、すべての地区において「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」が1位の項目となっている。南林間・鶴間地区と桜ヶ丘地区では「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」が3割強、相模大塚地区では「大気汚染や水質汚濁などの防止」が3割強と他の地区と比較して多くなっている。また、中央林間地区とつきみ野地区では「緑地や農地の保全と緑化の推進」が3割以上と他の地区と比較して多くなっている。(図5-5-3)

(6) まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み

◇「安全で快適な歩行者空間の確保」が約5割

問10. まちの快適さと利便性の向上に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-6 まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み—全体



「安全で快適な歩行者空間の確保」(50.6%)が最も多く約5割となっている。次いで、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」(42.2%)、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」(41.2%)、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」(33.9%)の順となっている。

(図5-6)

図5-6-1 まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
安全で快適な歩行者空間の確保	50.6	37.2
コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大	42.2	36.6
自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進	41.2	31.7
自転車の利用に関するルールやマナーの啓発	33.9	36.4
道路や建物におけるユニバーサルデザインの推進	9.8	19.1
その他	3.0	1.9
無回答	1.9	1.8

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「安全で快適な歩行者空間の確保」が5割以上で1位、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」が2位となり、前回同様の順位となった。また、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」が今回3位（前回4位）、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」が今回4位（前回3位）となった。（図5-6-1）

図5-6-2 まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み—性別・年齢別

		(%)						
	調査数 (n)	コミュニティバス の運行や地域 に適した交通手段 の拡大	自転車の利用に 関するルールや マナーの啓発	自転車走行レーン の整備など、 自転車施策の推 進	安全で快適な歩 行者空間の確保	道路や建物の推 進 デザインにおけ るユニバーサ ル	その他	無回答
全体	2,334	42.2	33.9	41.2	50.6	9.8	3.0	1.9
男性全体	966	41.3	39.0	40.6	48.0	12.0	3.0	1.2
10代	21	42.9	33.3	47.6	33.3	23.8	-	-
20代	82	42.7	31.7	40.2	40.2	18.3	6.1	1.2
30代	146	42.5	32.9	44.5	46.6	17.8	3.4	0.7
40代	153	37.3	41.8	35.9	47.1	13.1	3.9	0.7
50代	135	43.0	35.6	39.3	45.2	18.5	3.7	0.7
60代	189	38.6	46.6	37.6	52.9	8.5	3.2	0.5
70代以上	240	43.8	40.0	43.8	51.3	3.8	0.8	2.9
女性全体	1,236	43.0	30.4	42.2	52.6	8.2	3.2	1.9
10代	22	45.5	13.6	54.5	54.5	18.2	-	-
20代	110	37.3	24.5	46.4	47.3	16.4	5.5	0.9
30代	212	40.1	28.3	42.5	51.4	10.4	4.7	1.4
40代	210	46.2	26.7	45.2	50.0	10.0	2.4	0.5
50代	176	41.5	37.5	46.6	47.2	6.8	1.7	-
60代	242	44.2	36.4	39.7	54.1	4.1	2.9	2.5
70代以上	262	45.0	29.0	36.3	59.9	5.3	3.1	4.6

1位 2位

性別でみると、男女ともに「安全で快適な歩行者空間の確保」が1位、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」が2位となっている。

性別・年齢別でみると、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」が男性10代～30代・70代、女性10代～30代・50代が4割以上と多くなっている。また、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」が男性40代・60代で4割以上と多くなっている。(図5-6-2)

図5-6-3 まちの快適さと利便性の向上に関する取り組み—地域別

		(%)						
	調査数 (n)	に適した交通手段の拡大 コミュニティバスの運行や地域	自転車の利用に関するルールや マナーの啓発	自転車走行レーンの整備など、 自転車施策の推進	安全で快適な歩行者空間の確保	道路や建物におけるユニバーサ ルデザインの推進	その他	無回答
全 体	2,334	42.2	33.9	41.2	50.6	9.8	3.0	1.9
中央林間地区	279	41.9	35.5	34.4	55.6	12.2	3.2	0.7
つきみ野地区	210	53.8	28.1	39.5	47.1	9.5	4.3	1.0
南林間・鶴間地区	693	39.2	36.8	40.4	49.6	11.0	2.9	2.3
相模大塚地区	64	34.4	31.3	54.7	48.4	3.1	3.1	4.7
大和地区	450	37.3	34.0	45.3	48.9	12.2	3.3	1.8
桜ヶ丘地区	356	46.3	30.9	44.1	51.1	7.0	3.1	0.8
高座渋谷地区	240	48.8	31.7	39.6	53.3	6.7	2.1	0.8

1位 2位

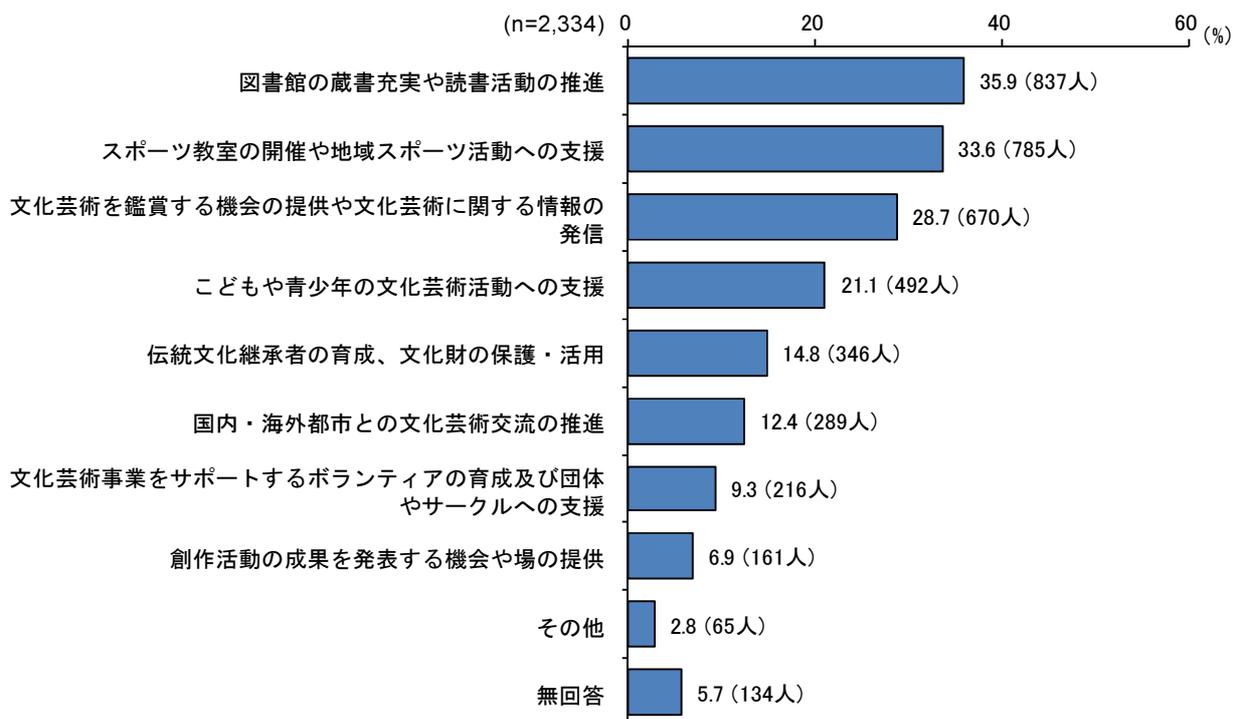
地域別でみると、すべての地区において「安全で快適な歩行者空間の確保」が5割前後と多くなっている。中央林間地区、つきみ野地区、桜ヶ丘地区、高座渋谷地区では「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」が多く、特につきみ野地区では5割強となっている。また、南林間・鶴間地区、相模大塚地区、大和地区、桜ヶ丘地区では「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」が多く、特に相模大塚地区では5割台半ばとなっている。(図5-6-3)

(7) 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み

◇「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」が3割台半ば

問11. 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-7 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み－全体



「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」(35.9%)が最も多く3割台半ばとなっている。次いで、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」(33.6%)、「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」(28.7%)、「子どもや青少年の文化芸術活動への支援」(21.1%)の順となっている。(図5-7)

図5-7-1 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
図書館の蔵書充実や読書活動の推進	35.9	—
スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援	33.6	—
文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信	28.7	—
(※文化芸術を鑑賞する機会や場の提供)	—	47.8
(※文化芸術に関する情報の提供)	—	19.2
こどもや青少年の文化芸術活動への支援	21.1	30.3
伝統文化継承者の育成、文化財の保護・活用	14.8	22.4
国内・海外都市との文化芸術交流の推進	12.4	12.6
文化芸術事業をサポートするボランティアの育成及び団体やサークルへの支援	9.3	—
(※文化芸術に関する団体やサークルへの支援)	—	11.5
(※文化芸術事業をサポートするボランティアの育成)	—	8.6
創作活動の成果を発表する機会や場の提供	6.9	11.4
その他	2.8	2.2
無回答	5.7	6.1

1位	2位
----	----

※平成23年度では質問項目を2つに分けていたが、平成26年度では質問項目を1つにまとめたもの。

前回結果と比較すると、今回新たに加わった項目「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」がそれぞれ1位、2位となっている。「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」は3割近くで、文化芸術に関する項目の中では最も多く前回同様の傾向となっている。(図5-7-1)

図5-7-2 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み—性別・年齢別

		推進 図書館の蔵書充実や読書活動の	地域 スポーツ教室の開催や	への支援 子どもや青少年の文化芸術活動	や文化 芸術を鑑賞する機会の提供	伝統 文化継承者の育成、文化財	の保護・活用	創作 活動の成果を発表する機会	や場 の提供	国内・ 海外都市との文化芸術	交流の 推進	文化 芸術事業をサポートする	サークル への支援 ボランティアの育成及び団体や	その他	無 回答
	調査数 (n)														
全体	2,334	35.9	33.6	21.1	28.7	14.8	6.9	12.4	9.3	2.8	5.7				
男性全体	966	34.3	36.9	21.6	25.5	17.8	7.7	12.6	9.7	3.4	3.5				
10代	21	28.6	28.6	9.5	23.8	19.0	14.3	23.8	4.8	4.8	-				
20代	82	47.6	40.2	9.8	23.2	14.6	15.9	15.9	4.9	1.2	2.4				
30代	146	34.9	45.9	19.9	16.4	21.9	11.0	13.0	7.5	4.1	1.4				
40代	153	35.9	42.5	17.6	15.0	16.3	4.6	18.3	6.5	3.9	3.3				
50代	135	37.0	35.6	28.9	24.4	14.8	5.2	11.9	9.6	4.4	1.5				
60代	189	30.2	31.2	26.5	35.4	18.5	7.4	9.5	13.2	4.8	3.2				
70代以上	240	30.4	32.5	22.5	31.3	18.3	5.8	9.6	12.5	1.7	7.1				
女性全体	1,236	38.2	31.1	20.9	32.0	12.9	5.8	12.7	7.9	2.3	6.6				
10代	22	63.6	27.3	18.2	18.2	4.5	4.5	13.6	-	-	9.1				
20代	110	46.4	33.6	10.9	26.4	13.6	11.8	20.9	4.5	-	5.5				
30代	212	47.2	43.4	18.9	20.3	10.8	5.7	18.4	6.6	1.9	1.4				
40代	210	42.4	39.0	21.9	25.2	11.4	2.9	15.7	7.1	3.8	3.3				
50代	176	37.5	22.2	22.7	36.4	14.8	5.7	11.4	8.0	2.8	5.7				
60代	242	33.1	25.6	21.5	40.1	13.6	6.2	7.4	12.0	3.3	7.0				
70代以上	262	27.5	25.6	24.0	40.1	14.5	5.7	8.0	8.0	1.5	13.4				

1位 2位

性別で見ると、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」が男性1位で女性3位、「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」が女性1位で男性2位、「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」が女性2位で男性3位となった。

性別・年齢別で見ると、女性では「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」が10代～40代で4割以上、「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」が60代以上では4割以上と多くなっている。男性では「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」が20代で5割近く、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」が20代～40代で4割以上と多くなっている。(図5-7-2)

図5-7-3 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組み—地域別

		(%)										
	調査数 (n)	推進 図書館の蔵書充実や読書活動の	地域スポーツ活動への支援 スポーツ教室の開催や	への支援 子どもや青少年の文化芸術活動	や文化芸術に関する情報の発信 文化芸術を鑑賞する機会の提供	の保護・活用 伝統文化継承者の育成、文化財	創作活動の成果を発表する機会 や場の提供	国内・海外都市との文化芸術 交流の推進	文化芸術事業をサポートする ボランティアの育成及び団体や	サークルへの支援	その他	無回答
全 体	2,334	35.9	33.6	21.1	28.7	14.8	6.9	12.4	9.3	2.8	5.7	
中央林間地区	279	43.7	34.1	21.5	32.3	10.8	6.8	12.2	7.5	3.9	2.5	
つきみ野地区	210	47.1	27.1	23.3	26.7	14.8	5.7	13.8	7.6	3.8	5.2	
南林間・鶴間地区	693	33.2	33.6	19.8	27.8	15.6	7.1	11.0	11.0	3.0	6.5	
相模大塚地区	64	39.1	35.9	12.5	23.4	15.6	1.6	15.6	6.3	6.3	7.8	
大和地区	450	35.6	36.0	21.6	30.2	14.0	4.9	14.2	7.8	2.0	5.1	
桜ヶ丘地区	356	32.6	33.1	19.7	30.3	17.4	9.0	12.6	12.1	2.2	5.3	
高座渋谷地区	240	32.1	37.5	23.8	25.4	16.3	9.6	11.7	8.3	1.7	4.6	

1位	2位
----	----

地域別でみると、中央林間地区とつきみ野地区では「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」が4割以上と他の地区と比較して多くなっている。つきみ野地区以外の地区においては「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」が3割以上となっている。中央林間地区、大和地区、桜ヶ丘地区では「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」が3割以上と多くなっている。

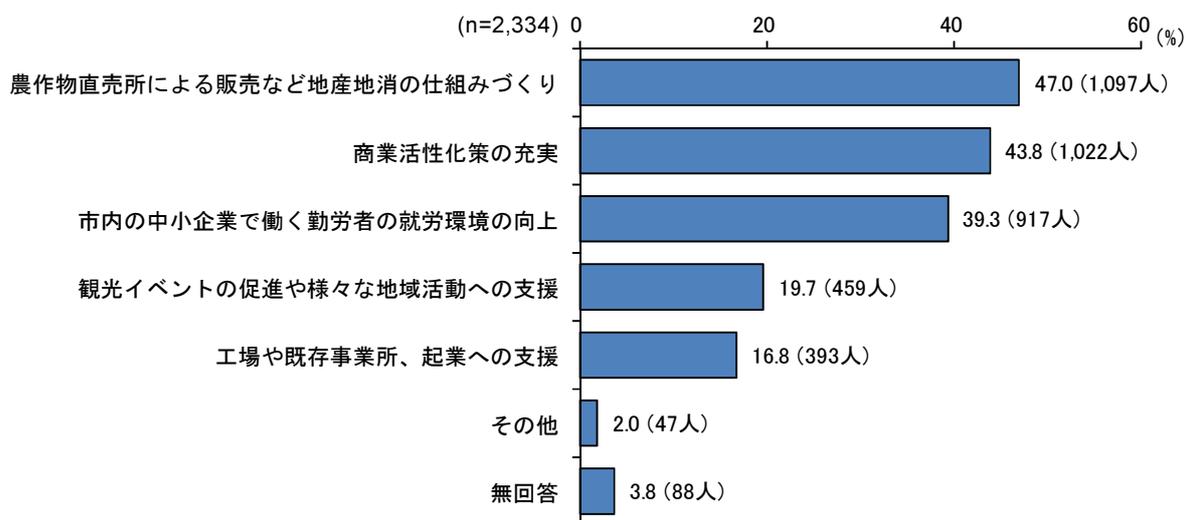
(図5-7-3)

(8) 地域経済の活性化に関する取り組み

◇「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が5割近く

問12. 地域経済の活性化に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-8 地域経済の活性化に関する取り組み—全体



「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」(47.0%)が最も多く5割近くとなっている。次いで、「商業活性化策の充実」(43.8%)、「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」(39.3%)、「観光イベントの促進や様々な地域活動への支援」(19.7%)の順となっている。

(図5-8)

図5-8-1 地域経済の活性化に関する取り組み—経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり	47.0	41.8
商業活性化策の充実	43.8	46.5
市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上	39.3	38.8
観光イベントの促進や様々な地域活動への支援	19.7	21.1
工場や既存事業所、起業への支援	16.8	22.2
その他	2.0	2.2
無回答	3.8	3.3

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が5割近くで前回2位から今回1位となり、「商業活性化策の充実」が4割強で前回1位から今回2位となった。「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」は前回同様3位となっている。(図5-8-1)

図5-8-2 地域経済の活性化に関する取り組み—性別・年齢別

		(%)						
	調査数 (n)	商業活性化策の充実	支援 工場や既存事業所、起業への	市内の中小企業で働く勤労者の 就労環境の向上	農作物直売所による販売など 地産地消の仕組みづくり	観光イベントの促進や様々な 地域活動への支援	その他	無回答
全体	2,334	43.8	16.8	39.3	47.0	19.7	2.0	3.8
男性全体	966	47.5	21.4	40.3	41.4	20.4	2.1	2.6
10代	21	33.3	33.3	33.3	28.6	23.8	4.8	-
20代	82	41.5	24.4	46.3	34.1	23.2	1.2	2.4
30代	146	49.3	19.2	41.1	43.8	27.4	2.1	0.7
40代	153	51.6	30.1	35.3	33.3	19.6	1.3	2.0
50代	135	53.3	22.2	37.8	31.1	21.5	3.7	3.0
60代	189	51.3	16.9	41.3	46.6	18.0	2.6	2.6
70代以上	240	40.8	18.3	42.1	50.4	16.7	1.3	4.2
女性全体	1,236	42.1	13.1	38.7	51.9	18.9	1.9	3.8
10代	22	31.8	13.6	45.5	31.8	36.4	-	9.1
20代	110	39.1	8.2	43.6	44.5	25.5	2.7	3.6
30代	212	42.5	11.3	37.3	48.6	22.6	2.4	2.4
40代	210	43.3	16.2	38.6	49.0	19.0	1.9	1.0
50代	176	50.6	15.3	39.2	48.3	14.2	2.8	2.3
60代	242	43.4	10.3	36.8	60.3	19.8	1.7	2.5
70代以上	262	36.3	15.3	38.9	56.9	14.1	1.1	8.4

1位 2位

性別でみると、「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が女性1位で男性2位、「商業活性化策の充実」が男性1位で女性2位となった。

性別・年齢別でみると、女性60代以上と男性70代以上では「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が5割以上と多くなっている。「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」は男性20代～30代・60代～70代と女性10代～20代で4割以上と多くなっている。また、女性50代では「商業活性化策の充実」が約5割と多くなっている。(図5-8-2)

図5-8-3 地域経済の活性化に関する取り組み—地域別

		(%)							
	調査数 (n)	商業活性化策の充実	工場や既存事業所、起業への支援	市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上	農作物直売所による販売など	地産地消の仕組みづくり	観光イベントの促進や様々な地域活動への支援	その他	無回答
全体	2,334	43.8	16.8	39.3	47.0	19.7	2.0	3.8	
中央林間地区	279	41.2	19.4	35.8	53.0	19.0	1.4	2.9	
つきみ野地区	210	41.4	15.7	41.9	52.4	17.1	1.4	2.4	
南林間・鶴間地区	693	41.7	18.0	40.7	45.0	19.3	2.6	4.8	
相模大塚地区	64	39.1	15.6	37.5	45.3	26.6	1.6	4.7	
大和地区	450	50.4	14.7	38.9	41.8	20.4	2.7	3.3	
桜ヶ丘地区	356	46.6	15.7	38.2	50.6	18.5	1.7	2.5	
高座渋谷地区	240	41.3	17.9	41.7	47.1	22.5	0.8	2.5	

1位 2位

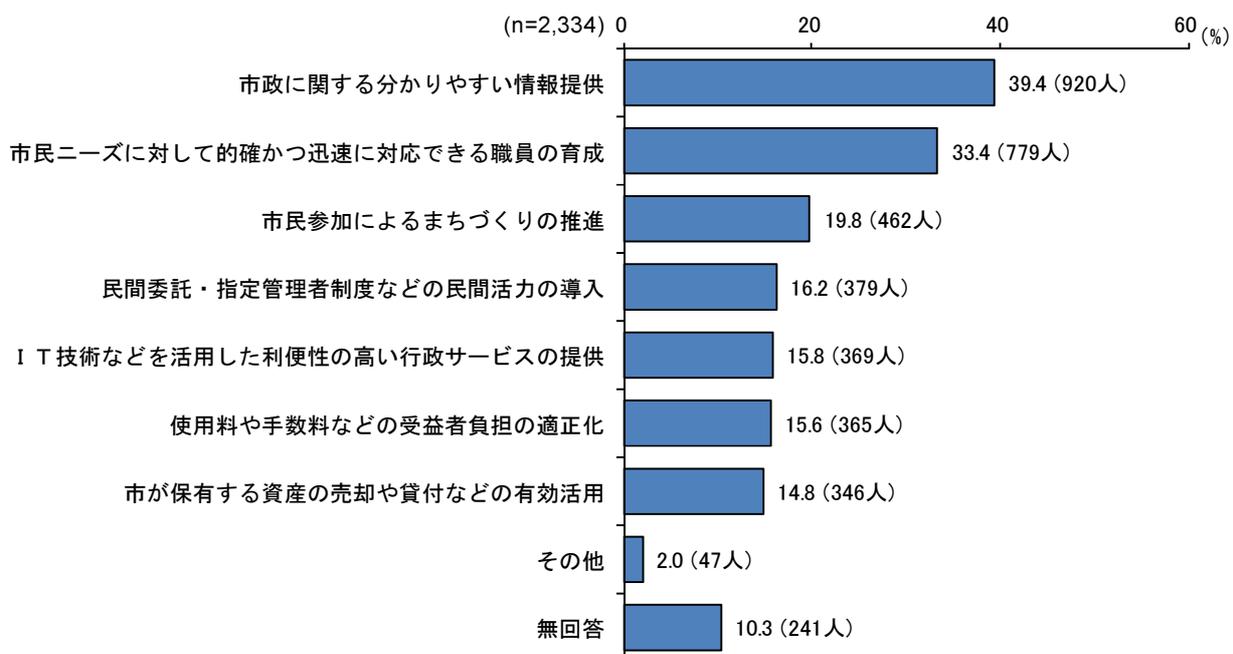
地域別で見ると、中央林間地区、つきみ野地区、桜ヶ丘地区では「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が5割以上、大和地区では「商業活性化策の充実」が5割以上と多くなっている。また、つきみ野地区、南林間・鶴間地区、高座渋谷地区では「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」が4割以上と多くなっている。(図5-8-3)

(9) 行政経営に関する取り組み

◇「市政に関する分かりやすい情報提供」が4割弱

問13. 行政経営に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

図5-9 行政経営に関する取り組み—全体



「市政に関する分かりやすい情報提供」(39.4%)が最も多く4割弱となっている。次いで、「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」(33.4%)、「市民参加によるまちづくりの推進」(19.8%)、「民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入」(16.2%)の順となっている。

(図5-9)

図5-9-1 行政経営に関する取り組み一経年比較

	(%)	
	平成26年度	平成23年度
調査数(n)	2,334	2,510
市政に関する分かりやすい情報提供	39.4	42.9
市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成	33.4	—
市民参加によるまちづくりの推進	19.8	24.9
民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入	16.2	19.5
IT技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供	15.8	17.2
使用料や手数料などの受益者負担の適正化	15.6	18.4
市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用	14.8	18.1
その他	2.0	2.2
無回答	10.3	8.5

1位	2位
----	----

前回結果と比較すると、「市政に関する分かりやすい情報提供」が前回同様1位となり、今回新たに加わった項目「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」が2位、「市民参加によるまちづくりの推進」が前回2位から今回3位となっている。(図5-9-1)

図5-9-2 行政経営に関する取り組み—性別・年齢別

		(%)								
	調査数 (n)	市政に関する分かりやすい情報提供	の民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入	推進市民参加によるまちづくりの	I T 技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供	市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用	負担の適正化 使用料や手数料などの受益者	迅速に対応できる職員の育成 市民ニーズに対して的確かつ	その他	無回答
全体	2,334	39.4	16.2	19.8	15.8	14.8	15.6	33.4	2.0	10.3
男性全体	966	39.4	21.3	23.1	21.3	15.3	15.7	32.7	3.0	3.9
10代	21	28.6	4.8	19.0	47.6	9.5	14.3	19.0	-	4.8
20代	82	37.8	13.4	15.9	35.4	17.1	28.0	20.7	2.4	-
30代	146	37.7	18.5	18.5	26.0	19.2	19.2	37.7	3.4	2.1
40代	153	32.7	17.6	21.6	26.8	19.6	14.4	28.8	6.5	2.6
50代	135	39.3	23.7	18.5	25.2	9.6	16.3	38.5	3.7	3.0
60代	189	40.2	29.1	26.5	15.9	14.8	17.5	33.3	3.2	2.6
70代以上	240	45.8	22.1	29.6	10.0	13.8	8.8	33.8	0.4	8.8
女性全体	1,236	43.5	14.0	19.3	13.2	16.0	17.2	37.5	1.5	5.8
10代	22	50.0	9.1	18.2	22.7	9.1	18.2	36.4	-	-
20代	110	44.5	7.3	23.6	20.9	12.7	26.4	22.7	1.8	5.5
30代	212	40.6	11.3	23.6	18.9	17.5	16.5	39.2	0.9	2.4
40代	210	37.6	19.5	14.8	18.1	20.5	20.0	35.2	1.4	3.3
50代	176	41.5	15.9	14.8	13.6	20.5	14.8	43.8	3.4	4.5
60代	242	46.3	18.2	20.2	6.6	13.2	16.5	37.6	0.8	5.8
70代以上	262	48.5	9.9	20.2	6.5	12.6	14.1	40.1	1.1	11.8

1位 2位

性別でみると、「市政に関する分かりやすい情報提供」が男女とも1位、「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」が男女とも2位となっている。

性別・年齢別でみると、男性10代～20代では「I T 技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供」が多くなっている。また、男女20代では「使用料や手数料などの受益者負担の適正化」が他の年代と比較して多くなっている。(図5-9-2)

図5-9-3 行政経営に関する取り組み—地域別

		(%)								
	調査数 (n)	市政に関する分かりやすい情報提供	の民間活力の導入 民間委託・指定管理者制度など	推進 市民参加によるまちづくりの	の IT技術などを活用した利便性	市 などの有効活用 市が保有する資産の売却や貸付	負担の適正化 使用料や手数料などの受益者	迅速に対応できる職員の育成 市民ニーズに対して的確かつ	その他	無回答
全 体	2,334	39.4	16.2	19.8	15.8	14.8	15.6	33.4	2.0	10.3
中央林間地区	279	40.1	16.1	21.5	19.4	16.8	12.2	35.8	1.8	7.5
つきみ野地区	210	45.7	19.5	23.3	14.8	7.6	14.8	33.8	1.9	7.6
南林間・鶴間地区	693	37.4	17.2	18.2	16.0	16.9	14.9	32.8	3.0	11.3
相模大塚地区	64	28.1	15.6	18.8	14.1	7.8	26.6	26.6	3.1	14.1
大和地区	450	39.1	13.6	17.3	18.4	16.0	16.2	33.6	1.8	9.8
桜ヶ丘地区	356	37.6	19.4	22.2	15.7	15.7	14.3	30.6	1.1	11.5
高座渋谷地区	240	45.8	10.8	21.3	9.2	11.7	21.3	37.5	1.3	9.2

1位	2位
----	----

地域別でみると、すべての地区において「市政に関する分かりやすい情報提供」が1位となっているが、中央林間地区、つきみ野地区、高座渋谷地区では4割以上であるのに対し、相模大塚地区では3割近くとなっており、地域間で差がみられる。また、相模大塚地区を除くすべての地区では「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」が3割以上となっている。一方、相模大塚地区では「使用料や手数料などの受益者負担の適正化」が3割近くと他の地区と比較して多くなっている。(図5-9-3)

6. まちづくりに関しての意見・要望

回答者2,334人のうち897人からまちづくりに関する意見や要望があった。そのうち特に多かった記載事項は次のとおりとなっている。

- ◇ 厚木基地の航空機騒音について（約190件）
- ◇ 道路・歩道幅の狭さや舗装の凹凸など、道路整備について（約100件）
- ◇ 暗い道への街灯や防犯カメラの設置など、治安向上について（約80件）
- ◇ 自転車利用マナーや自転車走行空間の整備について（約70件）
- ◇ 子育て支援について（約60件）
- ◇ 歩きたばこやポイ捨てについて（約30件）

自由記述の回答について、主な意見の内容を基本目標別に分類して掲載した。内容については意見の趣旨を損なわないよう、一部要約したものもある。

◎ 基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち ◎

◆医療体制について

- 救急車を呼んだ際、迅速に搬送先が決まり、また希望する病院に行けるよう体制を強化してほしい。
- 市立病院が救急から訪問診療まで担うとともに、他の病院との連携を進め、患者をもっとサポートするようサービス向上をはかってほしい。

◆高齢の方への支援について

- 高齢の方も経験を生かして働けるよう、就労相談の場やサポートを充実してほしい。
- 認知症や寝たきりにならないためにも、高齢の方がいつでも気軽に運動などが出来る場所や集まれる機会を増やしてほしい。
- 高齢の方の知識や経験と若い人のパワーがうまく融合できるようなシステムを考えてみてはどうか。

◆障がい者への支援について

- 障がいのある家族を、仕事をしながらでもケアできるようサポートしてほしい。また人の異動が多い介護業界であっても、長く信頼して相談できる人がいてほしい。
- 公共施設の障がい者トイレの基準の統一化を望む。また電子図書の整備、市役所及び公共施設内での視覚障がい者への誘導サービスを実施してほしい。

◎ 基本目標2 子どもが生き生きと育つまち ◎

◆子育て支援について

- 市内の授乳室地図や子ども連れで行きやすい店などを、子育て世代への情報提供を充実してほしい。

◆こどもの遊び場所について

- 公園でボール遊びが禁止されている所が多く、道路で遊んでいる子を見かける。子どもが安全にのびのび元気に遊べるよう公園を整備してほしい。
- コミュニティセンターなどをこどもの遊び場として充実してほしい。

◆働きながら子育てをすることについて

- 働きながら子育てができるよう、こどもを預ける場を充実し、延長保育や土日預かりなどをもっと利用しやすくしてほしい。
- 放課後こども教室は良い制度なので、今後も拡充し、長期休暇等も利用できるようになってほしい。

◎ 基本目標3 安全と安心が感じられるまち ◎

◆防犯について

- 学校や駅までの道のり、線路沿いなど、夜間暗いので安全性に疑問を感じる。街灯を増設してほしい。
- 犯罪が多く発生するところに防犯カメラを設置してほしい。また一般家庭に防犯カメラを導入しやすい助成を望む。
- 公園や道沿いの植え込み等を短く刈り込んでほしい。防犯対策にも有効だと思う。

◆防災について

- 防災無線が不鮮明で家で聞き取りにくい。全く聞き取れない地域もある。
- 他の自治会が災害時への対応について、どのような取り組みを行っているか知ること、自分の加入する自治会活動への参考としたい。

◆基地について

- 騒音があまりにもうるさい。特に深夜はやめてほしい。

◎ 基本目標 4 環境を守り育てるまち ◎

◆路上喫煙やポイ捨てについて

- 路上での喫煙が禁止されているにもかかわらず、歩きたばこ、ポイ捨てが多い。公園にも吸殻が落ちている。歩きたばこ、ポイ捨て、不法投棄違反者への指導対策を強化すべき。

◆ごみ捨て場について

- 資源ゴミを停留所や市役所まで持ち運ぶのがつらいので、個別収集が実施できると大変ありがたい。

◆まちの緑について

- 街路樹等を増やすなど、市民に気持ちよい生活環境作りに努めてほしい。
- 公園等の緑地があるのは嬉しいが、場所に偏りを感じる。緑を増やして住みやすい環境を提供して欲しい。

◎ 基本目標 5 快適な都市空間が整うまち ◎

◆道路整備について

- 凸凹な道など舗装の状態を調査し、補修してほしい。また、狭い道が多く、車いすでは通れないなど、バリアフリー対応になっていない。
- 不要な歩道橋を撤去してほしい。歩行者が見えないことがある。
- 自転車専用レーンを整備してほしいが、専用レーンを走っている際、自動車が近づいてくると危険を感じる。

◆公共交通について

- コミュニティバスの路線を多くし、本数を増やしてほしい。

◆自転車利用マナーについて

- 携帯を使ったり、イヤホンで音楽を聴きながら、また、友だちと並んで話しながら道路に広がるなど自転車マナーの悪い人が多い。指導を強化し、違反者は取り締まってほしい。
- 道路交通法が厳しくなったことを受けて、小、中学校できちんと自転車の乗り方、交通ルールを授業で学ばせるべきだと思う。

◎ 基本目標6 豊かな心を育むまち ◎

◆文化施設・活動について

- 図書館について、蔵書の充実、駅前からのアクセス向上、駅等で本を返却できるようにするなど、市民がより利用しやすい環境作りに努めてほしい。
- 大和駅にできる新しい図書館と文化ホールへの交通アクセスをよくし、市内の離れた場所からも行きやすくしてほしい。
- コミュニティセンターを気軽に利用させてほしい。制約が多く、書類も煩雑に感じる。

◆スポーツ施設・活動について

- サッカーだけでなく、他のスポーツにも力を入れて、大会などイベントを開催してほしい。

◎ 基本目標7 市民の活力があふれるまち ◎

◆多文化共生について

- 大和市は外国籍の方が多いので、外国語教室や料理教室など国際交流イベントに力を入れて、お互いの文化を分かりあいたい。
- 米軍住宅がある特性を活かし、こどもから大人まで英語文化を身近に体験し、大和市に住めば、世界共通語の生の英語を体得できるようにしてほしい。

◆商業・産業について

- 計画的に都市開発し、ショッピングモールやデパート等を誘致してほしい。
- 大和市は高速・国道・電車等の便利が良いと思うので企業の誘致に有利だと思う。地域経済について施策を展開してほしい。
- 市内の未利用地を活用し、市民農園を増やしてほしい。また、地産地消で安全な農産物を供給してくれる場がほしい。

◆地域活動について

- 毎年春夏には市民まつりなどの祭りがあるが、秋や冬には目立ったイベントがないような気がして少しさみしく感じている。

第4章 調査結果のまとめ

アンケート調査の結果を分析し、市全体、課題ごとに分類すると、次のとおりとなる。

調査からわかったこと

(1) 「個別目標の重要度・満足度」からわかったこと (p23~33)

- 「防犯や交通安全に関すること」、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「地域医療や救急医療に関すること」の重要度は高い。(p23)
- 「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」、「交通便利性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」の満足度は高く、前回と比較しても割合が増加している。(p25~26)
- 「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」、「心身の健康の維持・増進に関すること」、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」、「災害に強いまちづくりに関すること」の重要度は高いが満足度は低い。(p30)

(2) 「市が重視すべき取り組みについて」からわかったこと (p48~83)

- 高齢の方や障がいのある方に関する取り組みについて、「介護サービスや介護施設の充実」を求める割合が高い。特に男女とも60代以上で高くなっている。(p52~54)
- 子育てに関する取り組みについて、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」を求める割合が高い。特に男性30代、女性20代~30代で高くなっている。(p56~58)
- 心と身体の健康づくりに関する取り組みについて、「健康診断や各種検診の充実」を求める割合が高い。特に女性30代~40代で高くなっている。(p48~50)
- 安心・安全に関する取り組みの中で防災に関連する項目について、「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」が4割近くと高くなっている。(p60)
- まちの快適さと利便性の向上に関する取り組みについて、「安全で快適な歩行者空間の確保」を求める割合が高く、特に男性60代以上、女性30代~40代・60代以上で高くなっている。また、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」は世代に関わらず割合が高くなっている。(p68~70)
- このほか、環境に関しては、「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」、地域経済の活性化に関しては、「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」及び「商業活性化策の充実」について求める割合が4割以上と高くなっている。(p64、p76)

(3) 大和市の課題

「(1)『個別目標の重要度・満足度』からわかったこと」及び「(2)『市が重視すべき取り組みについて』からわかったこと」をもとにした、大和市の課題は、次のとおりである。

◆課題 1

個別目標の中で、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」の満足度を上げること。

<求められていること>

- ✓ 高齢の方や障がいのある方が安心して暮らせる環境の整備・施策が求められている。
 - ・介護サービスや介護施設の充実
 - ・バリアフリー化の推進や安全で快適な歩行者空間の確保
- ✓ 高齢の方が生き生きと活動する場が求められている。
 - ・経験を活かして働くことができる機会の提供
 - ・身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供

◆課題 2

個別目標の中で、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること」の満足度を上げること。

<求められていること>

- ✓ こどもを経済的に不安なく産み育てやすい環境の整備・施策が求められている。
 - ・働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の拡充
 - ・医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実
- ✓ こどもの安全を守り、生きる力を育む取り組みが求められている。
 - ・個性や能力にあった、きめ細かい学校教育の推進
 - ・安心して遊べる場や居場所の確保、安全・人権を守る取り組み

◆課題 3

個別目標の中で、「心身の健康の維持・増進に関すること」の満足度を上げること。

<求められていること>

- ✓ 健康の維持増進に関する取り組みが求められている。
 - ・健康診断・各種検診の実施や、体力づくり・運動に関する機会等の提供
- ✓ 心身の健康に関する取り組みが求められている。
 - ・心の健康に関する相談ができる場や情報提供

◆課題 4

個別目標の中で、「災害に強いまちづくりに関すること」の満足度を上げること。

<求められていること>

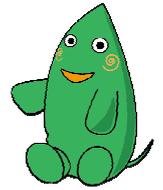
- ✓ 防災や減災のための取り組みが求められている。
 - ・非常用物資の備蓄や避難場所の環境整備
 - ・避難所や安否確認などの情報を伝達する手段の整備
 - ・高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策

第5章 調査票



健康創造都市やまと

平成26年度 第8次大和市総合計画に関する市民意識調査

大和市イベント
キャラクター「ヤマトン」

調査へのご協力をお願いします！

市民の皆様には、日ごろ市政の運営につきまして深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本市では、10年間にわたる市政運営の基本的な方針を示した「第8次大和市総合計画」に基づいてまちづくりを進めています。このうち、前期の基本計画期間が平成25年度をもって終了したことから、その達成状況を確認するため、市民の皆様の意見を伺う調査を行わせていただくことになりました。

ご回答いただいた内容は、本市が目標とする「健康創造都市」の実現に向けた取り組みの参考といたします。今後とも、市民の皆様一人ひとりの健康を目指し、様々な施策を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年5月 大和市 長

《ご記入にあたって》

この調査は、16歳以上の市民の皆様の中から、5千人の方を無作為に選び、お願いするものであり、無記名方式で行います。ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理されますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。

- ◇あて名のご本人様がお答えください。
- ◇質問の番号に沿ってお答えください。
- ◇番号に○印をつけていただく形式の設問では、(○印は1つ)(○印は2つまで)のように指定していますので、それに合わせてください。
- ◇あてはまる項目がない場合には、「その他」の番号に○印をつけて()内に具体的な内容をご記入ください。
- ◇ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**6月9日(月)**までにご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ◇調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、次の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

大和市役所 政策部 総合政策課
電話：260-5304 (直通)
(平日8時30分から17時15分まで)

大和市についてお伺いします

問1 あなたは、大和市に愛着を感じていますか。(○印は1つ)

- 1 愛着を感じている
- 2 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた
- 3 以前は愛着があったが、最近薄れつつある
- 4 愛着は感じない

問2 あなたは、これからも大和市内に住み続けたいですか。(○印は1つ)

- 1 ずっと住み続けるつもり
- 2 10年以上は住むつもり
- 3 5年～9年間は住むつもり
- 4 5年以内に転出したい
- 5 わからない

問3 あなたは、次に掲げるまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足していますか。次の欄の1～15の中から、重要度、満足度それぞれに該当する番号を3つまで選んで記入してください。また、(1)で選んだ中から、最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、1つだけ番号を記入してください。

(1)あなたにとって重要度の高い分野(1～15の中から3つまで)

--	--	--

(2)あなたにとって満足度の高い分野(1～15の中から3つまで)

--	--	--

(3)あなたが最も重点的に進めて欲しいと思う分野((1)で選んだ中から1つだけ)

--

【まちづくりの分野】

- 1 心身の健康の維持・増進に関すること
- 2 高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること
- 3 地域医療や救急医療に関すること
- 4 こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
- 5 こどもを産み育てやすい環境づくりに関すること
- 6 防犯や交通安全に関すること
- 7 災害に強いまちづくりに関すること
- 8 緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること
- 9 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
- 10 交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること
- 11 生涯学習や地域のスポーツ活動に関すること
- 12 文化や芸術の振興に関すること
- 13 地域経済の活性化に関すること
- 14 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
- 15 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること

問4 あなたは次あげる項目についてどう思われますか。1～26の項目それぞれについて、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の中から選んで番号に○印をつけてください。(それぞれ○印は1つ)

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
健康・医療・福祉・人権	1 あなたは、健康であると思う	1	2	3	4
	2 あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う	1	2	3	4
	3 大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う	1	2	3	4
	4 あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う	1	2	3	4
	5 あなたの地域では、高齢の方が生き生きと活動していると思う	1	2	3	4
	6 あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う	1	2	3	4
	7 あなたの地域では、差別意識がないと思う	1	2	3	4
子ども	8 大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う	1	2	3	4
	9 大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う	1	2	3	4
	10 大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う	1	2	3	4
スポーツ・文化・国際交流	11 あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う	1	2	3	4
	12 大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う	1	2	3	4
	13 大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う	1	2	3	4
	14 あなたのまわりでは、国際交流が行われていると思う	1	2	3	4
安全・安心	15 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う	1	2	3	4
	16 あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う	1	2	3	4
	17 以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う	1	2	3	4
環境・緑・公園	18 あなたのまわりでは、環境に配慮している人が多いと思う	1	2	3	4
	19 大和市には、緑や公園が多いと思う	1	2	3	4
都市環境	20 大和市は、良好な街並みが形成されていると思う	1	2	3	4
	21 大和市は、買い物がしやすいと思う	1	2	3	4
	22 大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う	1	2	3	4
地域活動	23 あなたは、地域活動に参加していると思う	1	2	3	4
開かれた行政	24 大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う	1	2	3	4
	25 大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う	1	2	3	4
	26 大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う	1	2	3	4

問5 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 健康診断や各種検診の充実
- 2 身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供
- 3 生活習慣病（喫煙、飲酒を含む）予防のための講演会や教室の開催
- 4 心の健康に関する相談や情報提供
- 5 食育や食生活改善に関する相談や普及啓発
- 6 感染症や食中毒に対する予防
- 7 その他（具体的に：)

問6 高齢の方や障がいのある方に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 介護サービスや介護施設の充実
- 2 趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供
- 3 ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供
- 4 経験を活かして働くことができる機会の提供
- 5 身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供
- 6 移動の支援や住まいの確保
- 7 公共施設などのバリアフリー化の推進
- 8 その他（具体的)

問7 子育てに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施
- 2 医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実
- 3 子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援
- 4 こどもが安心して遊べる場や居場所の確保
- 5 こどもの個性・能力にあった学校教育の推進
- 6 学校、家庭及び地域が連携した教育の推進
- 7 こどもの安全や人権を守る取り組みの推進
- 8 その他（具体的に：)

問8 安全・安心に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備
- 2 食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備
- 3 防災訓練や地域の自主防災組織への支援
- 4 高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実
- 5 スタンドパイプ※消火資機材の配備など、地域による防火対策の推進
- 6 建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進
- 7 消防救急体制の充実
- 8 防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実
- 9 その他（具体的に：)

※スタンドパイプとは、消火栓や排水栓に接続して住民の方が消火活動を行える資機材です。

問9 環境に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 ごみの減量化と資源化の推進
- 2 ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進
- 3 省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進
- 4 緑地や農地の保全と緑化の推進
- 5 生き物の生息環境の保全・再生
- 6 環境教育や環境学習の充実
- 7 大気汚染や水質汚濁などの防止
- 8 その他（具体的に：)

問10 まちの快適さと利便性の向上に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大
- 2 自転車の利用に関するルールやマナーの啓発
- 3 自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進
- 4 安全で快適な歩行者空間の確保
- 5 道路や建物におけるユニバーサルデザインの推進
- 6 その他（具体的に：)

問11 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 図書館の蔵書充実や読書活動の推進
- 2 スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援
- 3 こどもや青少年の文化芸術活動への支援
- 4 文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信
- 5 伝統文化継承者の育成、文化財の保護・活用
- 6 創作活動の成果を発表する機会や場の提供
- 7 国内・海外都市との文化芸術交流の推進
- 8 文化芸術事業をサポートするボランティアの育成及び団体やサークルへの支援
- 9 その他（具体的に：)

問12 地域経済の活性化に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 商業活性化策の充実
- 2 工場や既存事業所、起業への支援
- 3 市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上
- 4 農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり
- 5 観光イベントの促進や様々な地域活動への支援
- 6 その他（具体的に：)

問13 行政経営に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

- 1 市政に関する分かりやすい情報提供
- 2 民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入
- 3 市民参加によるまちづくりの推進
- 4 I T技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供
- 5 市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用
- 6 使用料や手数料などの受益者負担の適正化
- 7 市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成
- 8 その他(具体的に: _____)

あなた自身についてお伺いします

F1 あなたの性別を教えてください。(○印は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢を教えてください。(○印は1つ)

- | | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|-----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 | 5 35～39歳 |
| 6 40～44歳 | 7 45～49歳 | 8 50～54歳 | 9 55～59歳 | 10 60～64歳 |
| 11 65～69歳 | 12 70～74歳 | 13 75歳以上 | | |

F3 大和市内での居住年数を教えてください。(○印は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 3年未満 | 2 3年以上～5年未満 |
| 3 5年以上～10年未満 | 4 10年以上～20年未満 |
| 5 20年以上 | |

F4 同居されている家族構成を教えてください。(○印は1つ)

- | | |
|----------------|---------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ |
| 3 親と子(2世代) | 4 3世代以上 |
| 5 その他(_____) | |

F5 あなたのご家族の中に、「未就学」または「小学生以上18歳未満」のお子さんがいますか。(○印は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1 いる(未就学のお子さんのみ) |
| 2 いる(小学生以上18歳未満のお子さんのみ) |
| 3 いる(未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも) |
| 4 いない |

F6 あなたの現在の住居の形態を教えてください。(○印は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 戸建て住宅 (持ち家) | 2 戸建て住宅 (賃貸) |
| 3 マンション等集合住宅 (持ち家) | 4 マンション等集合住宅 (賃貸) |
| 5 社宅・官舎・寮 など | |

F7 あなたのお住まいの地域を教えてください。(○印は1つ)

- | | | | |
|-------------|--|---------------------|-------------------|
| 【か行】 | (1)上草柳(1～4丁目) | (2)上草柳(5～9丁目) | (3)上草柳(1～1931番地) |
| | (4)上和田(1～2743番地) | (5)上和田(2744～3523番地) | |
| 【さ行】 | (6)桜森(1～3丁目) | (7)渋谷(1・6丁目) | (8)渋谷(2～5丁目) |
| | (9)下草柳 | (10)下鶴間(1～2丁目) | |
| | (11)下鶴間(1～1439番地、1945番地、2046～2244番地、5011～5287番地) | | |
| | (12)下鶴間(1448～1646番地、4374～4457番地) | | |
| | (13)下鶴間(1733～1943番地、1946～2044番地、2245～3070番地) | | |
| | (14)下和田 | (15)草柳(1～3丁目) | |
| 【た行】 | (16)代官(1～4丁目) | (17)中央(1～7丁目) | (18)中央林間(1・3・5丁目) |
| | (19)中央林間(2・4・6丁目) | (20)中央林間西(1～7丁目) | (21)つきみ野(1～8丁目) |
| | (22)鶴間(1～2丁目) | | |
| 【な行】 | (23)西鶴間(1～8丁目) | | |
| 【は行】 | (24)深見 | (25)深見台(1～4丁目) | (26)深見西(1～4丁目) |
| | (27)深見西(5～8丁目) | (28)深見東(1～3丁目) | (29)福田(1～8丁目) |
| | (30)福田(1～2263番地、3264～4146番地、6000～6215番地) | | |
| | (31)福田(2264～2620番地、4147～5697番地) | | |
| 【ま行】 | (32)南林間(1～9丁目) | | |
| 【や行】 | (33)柳橋(1・4丁目) | (34)柳橋(2・3・5丁目) | (35)大和東(1～3丁目) |
| | (36)大和南(1～2丁目) | | |
| 【ら行】 | (37)林間(1～2丁目) | | |

質問は以上となりますが、次のページに自由記載欄があります。

平成26年度

第8次大和市総合計画に関する市民意識調査報告書

平成26年8月

大和市役所 政策部 総合政策課

大和市下鶴間一丁目一番一号

電話：046-260-5304（直通）